

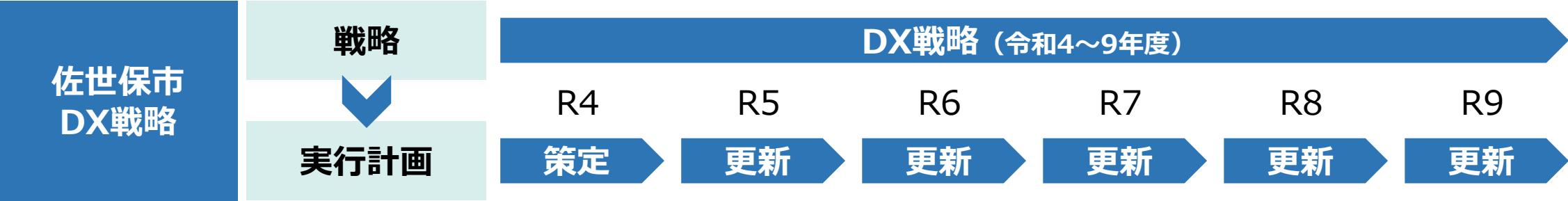
佐世保市DX戦略実行計画 (令和6年度実績)

令和7年8月
佐世保市

実行計画の概要

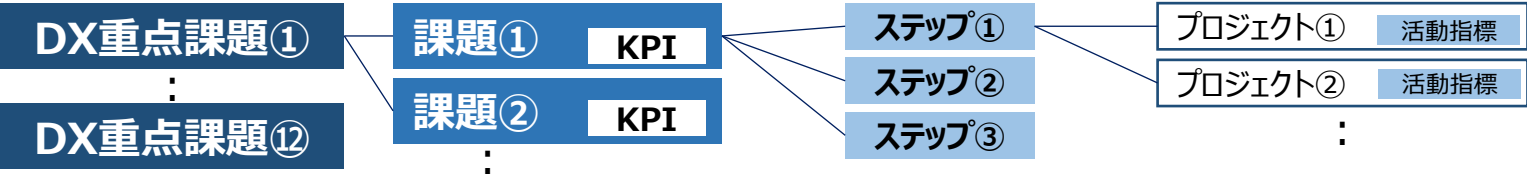
(1) 実行計画の位置付け

本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



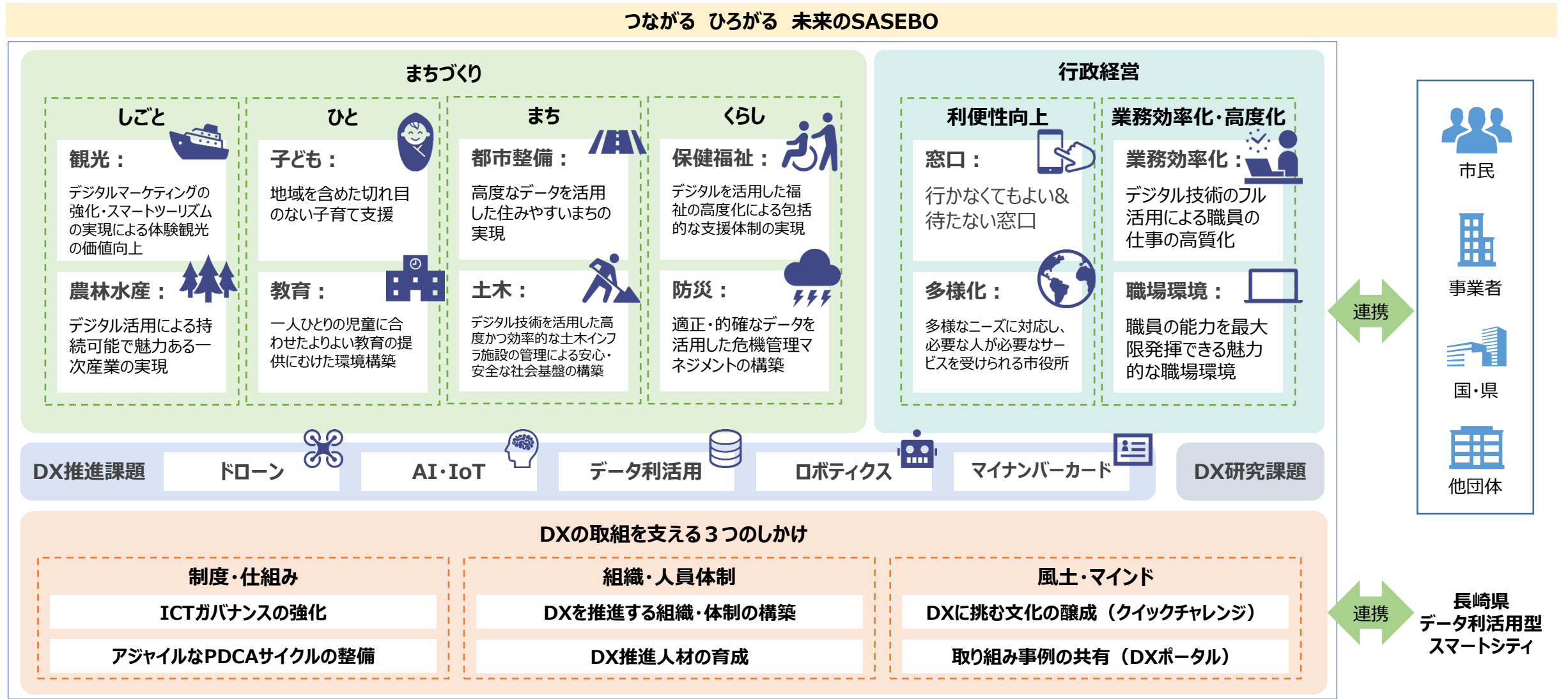
(2) DX戦略の進捗管理

- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



DX戦略の全体像

国・県の方針や最新の技術動向、本市の政策課題や地域課題、行政課題等の現状を踏まえ、市の成長や市民サービスの向上の実現に向けて、戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題を設定しました。



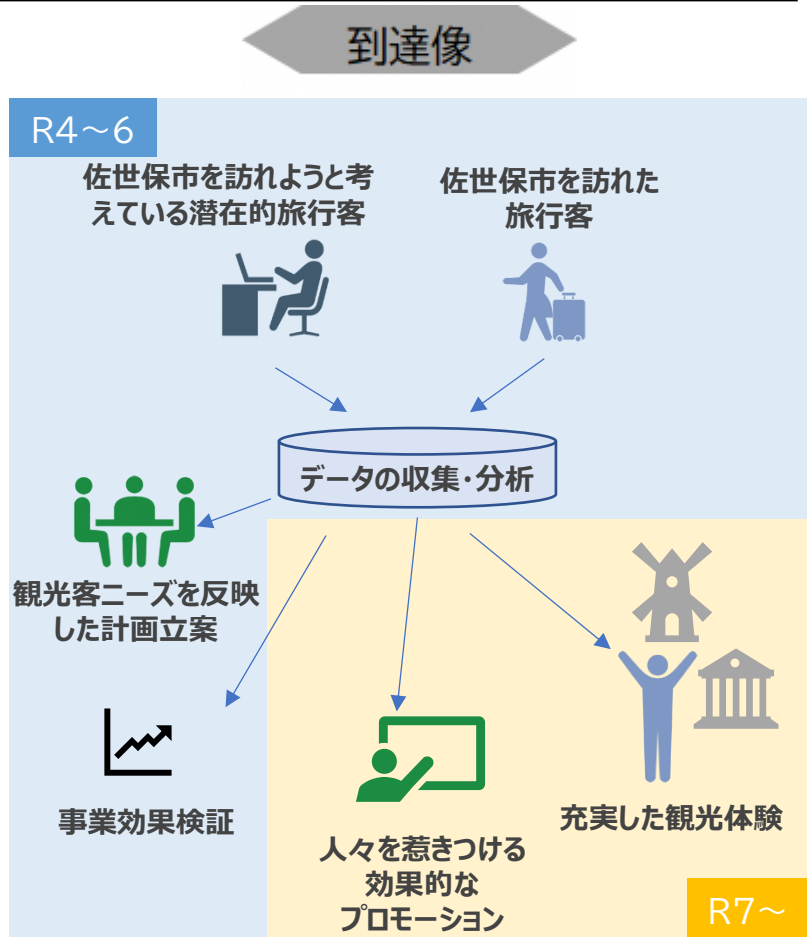
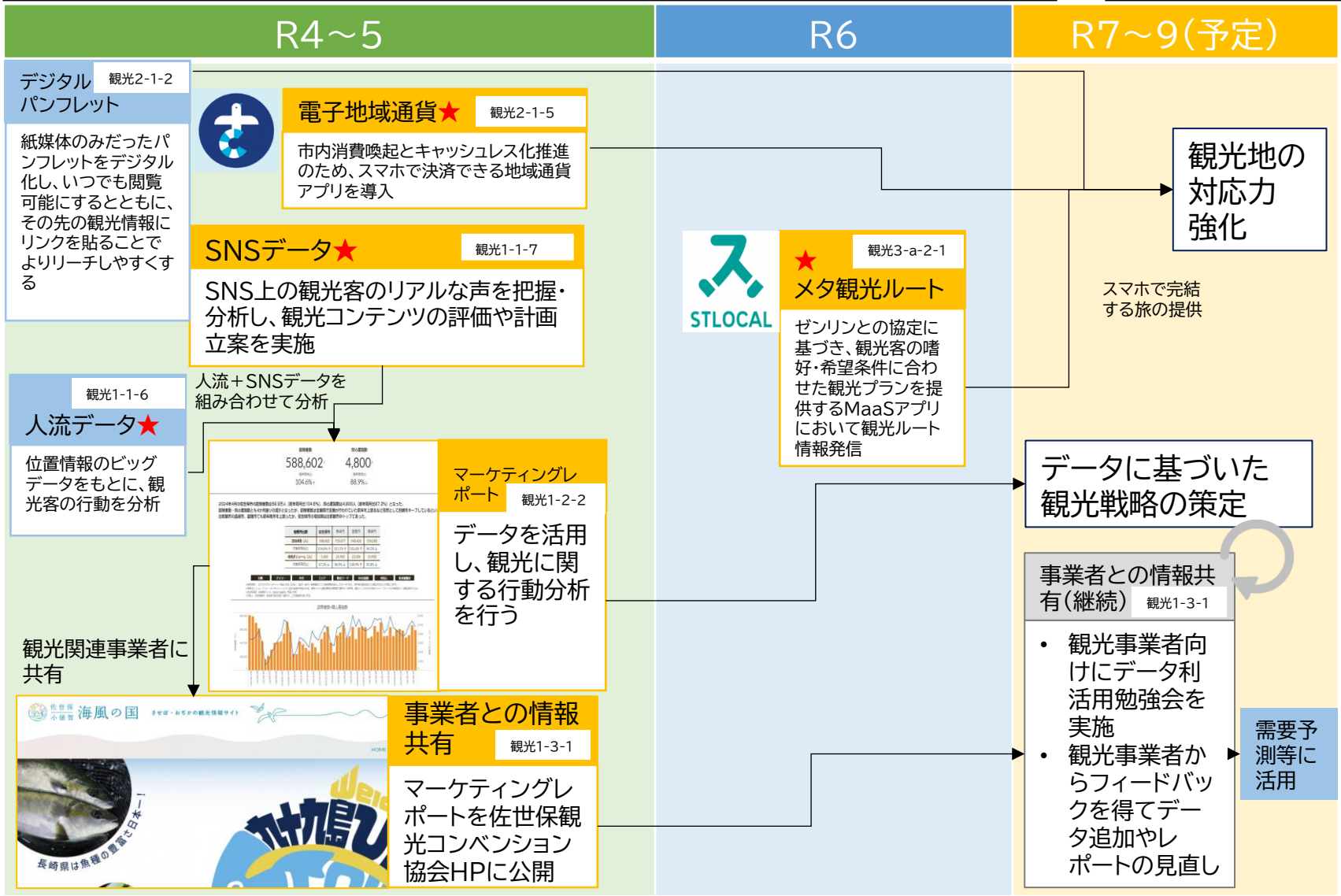
【観光分野】 デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

《進捗概要》

- データ分析による需要予測などを実施し、KPI(データを活用した事業立案数)も7件(目標:6件)と進捗している。
- 令和7年度以降は、需要予測データを事業者とともにブラッシュアップしていく。

《令和9年度の到達像》

データに基づくデジタルマーケティングを強化し、スマートツーリズムを実現することによって、観光客を受け入れる側の対応力と、観光客にとっての体験価値がともに向上している。



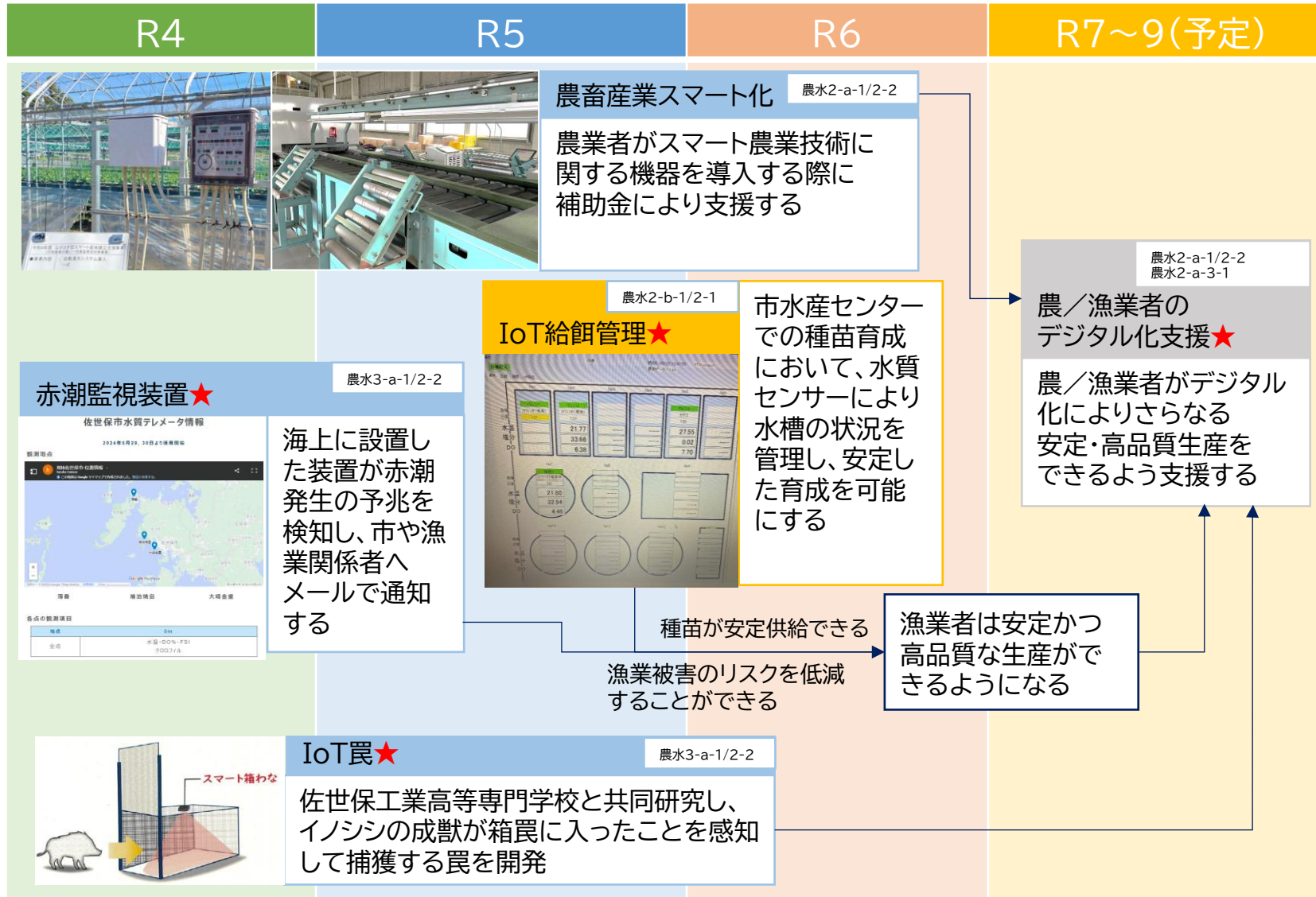
【農林水産分野】 デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

《進捗概要》

- 市水産センターにおいて給餌管理システムを導入し、漁協に販売する種苗の安定供給力を向上させた。
- 令和7年度以降は、農／漁業関係者のデジタル化支援に取り組む

《令和9年度の到達像》

デジタル技術により、農／漁業者の安定かつ高品質な生産が図られる。



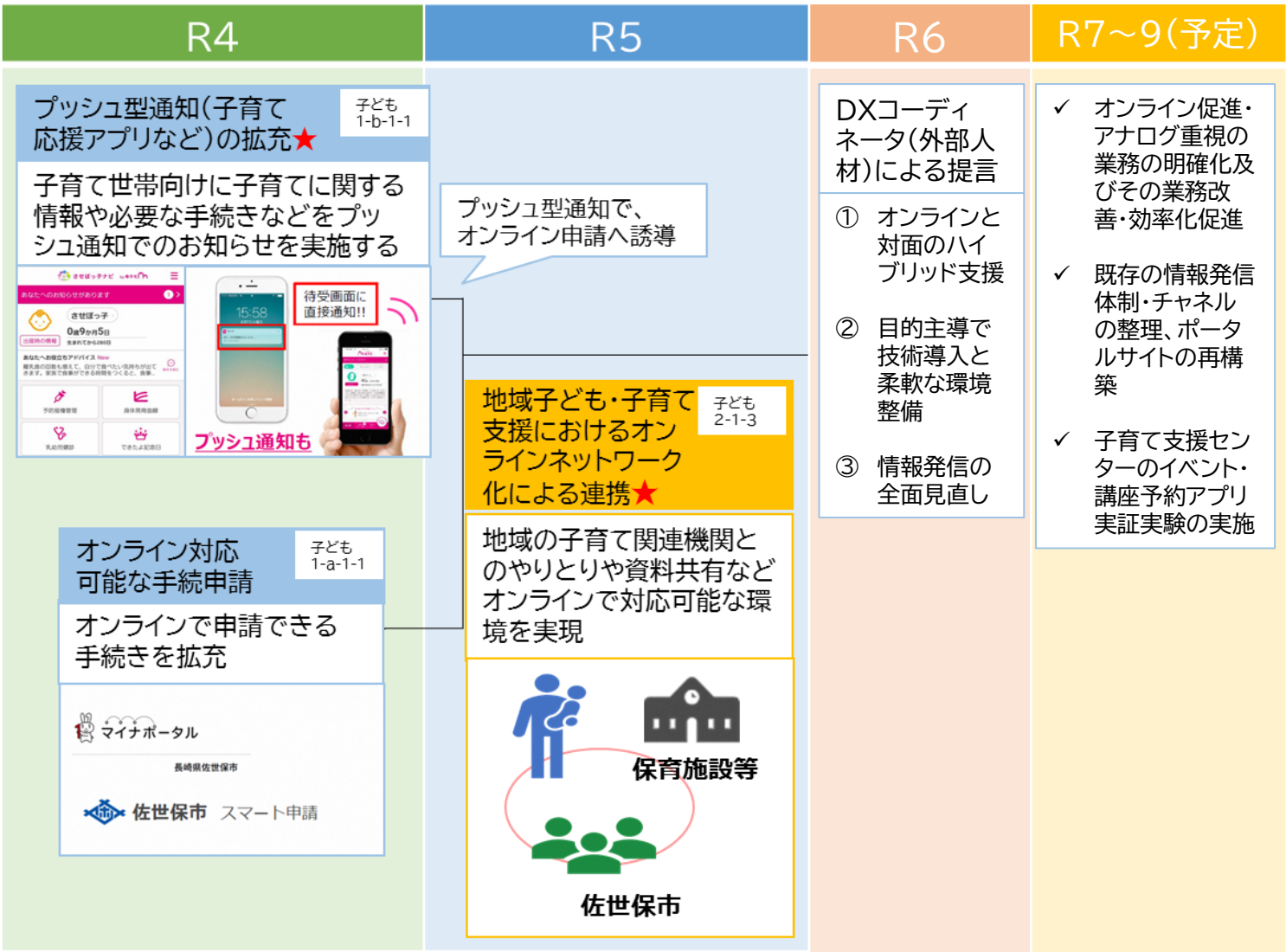
到達像



【子ども・子育て】 地域を含めた切れ目のない子育て支援

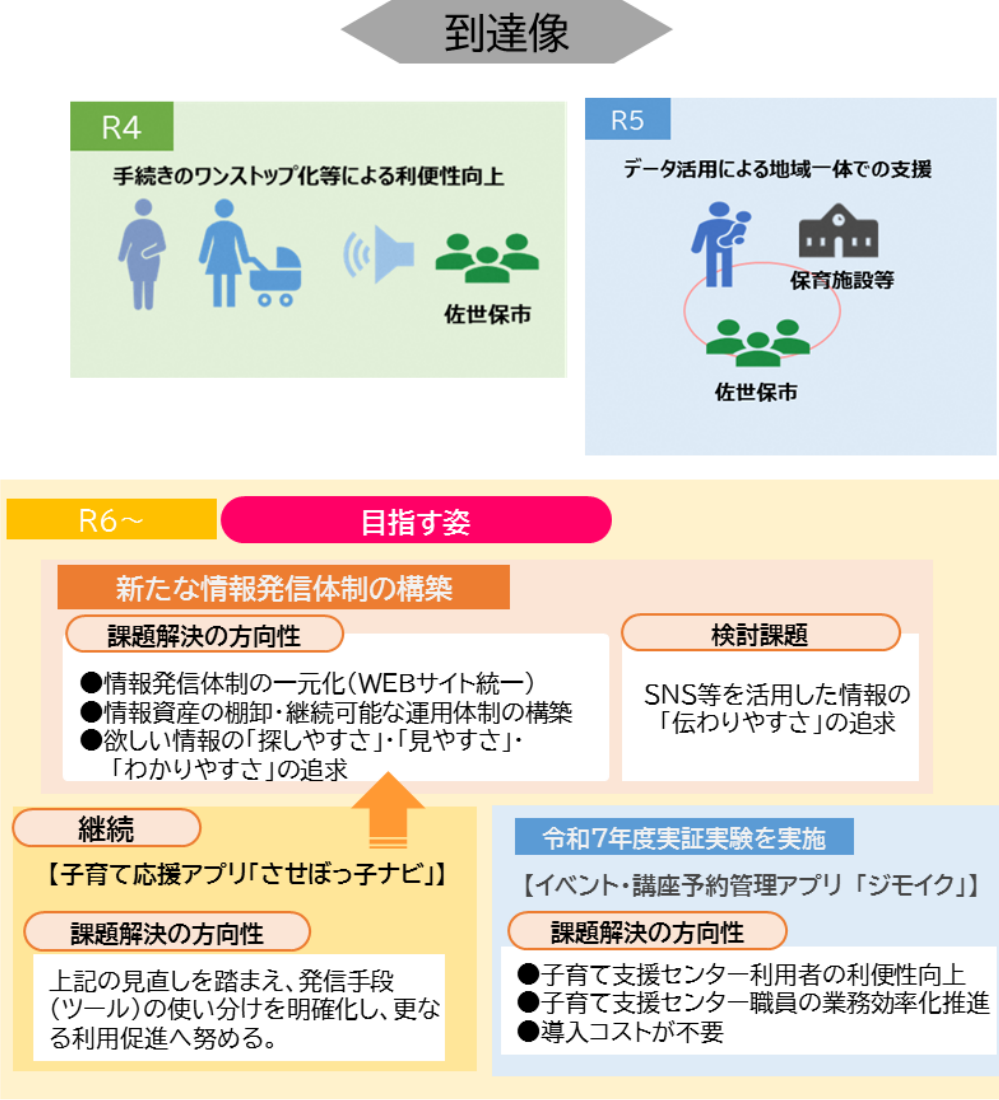
《進捗概要》

- 母子健康手帳アプリ導入やオンライン申請対応手続きの拡充などを実施しており、KPI オンライン対応手続き数100件と、当初予定(90件)を上回る進捗
- 令和7年度以降は、到達像の達成に向けて、各利用率の向上に資する対策等を講じていく。



《令和9年度の到達像》

簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現、
及び地域一体での子育て支援が実現できている。



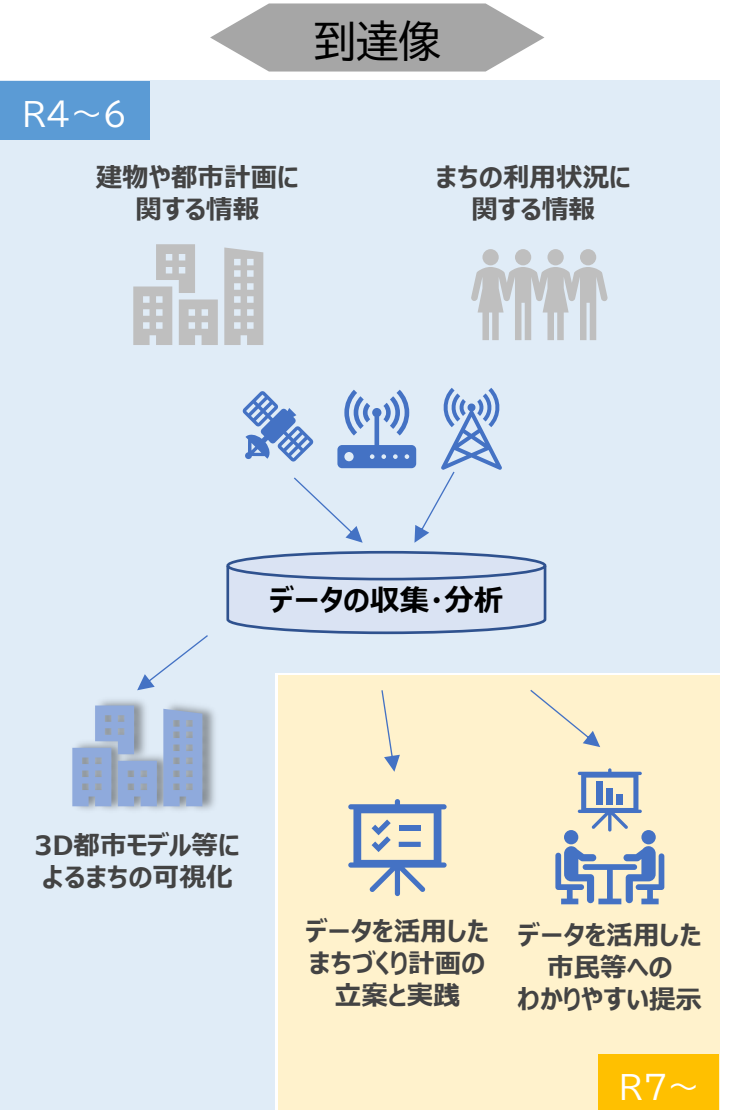
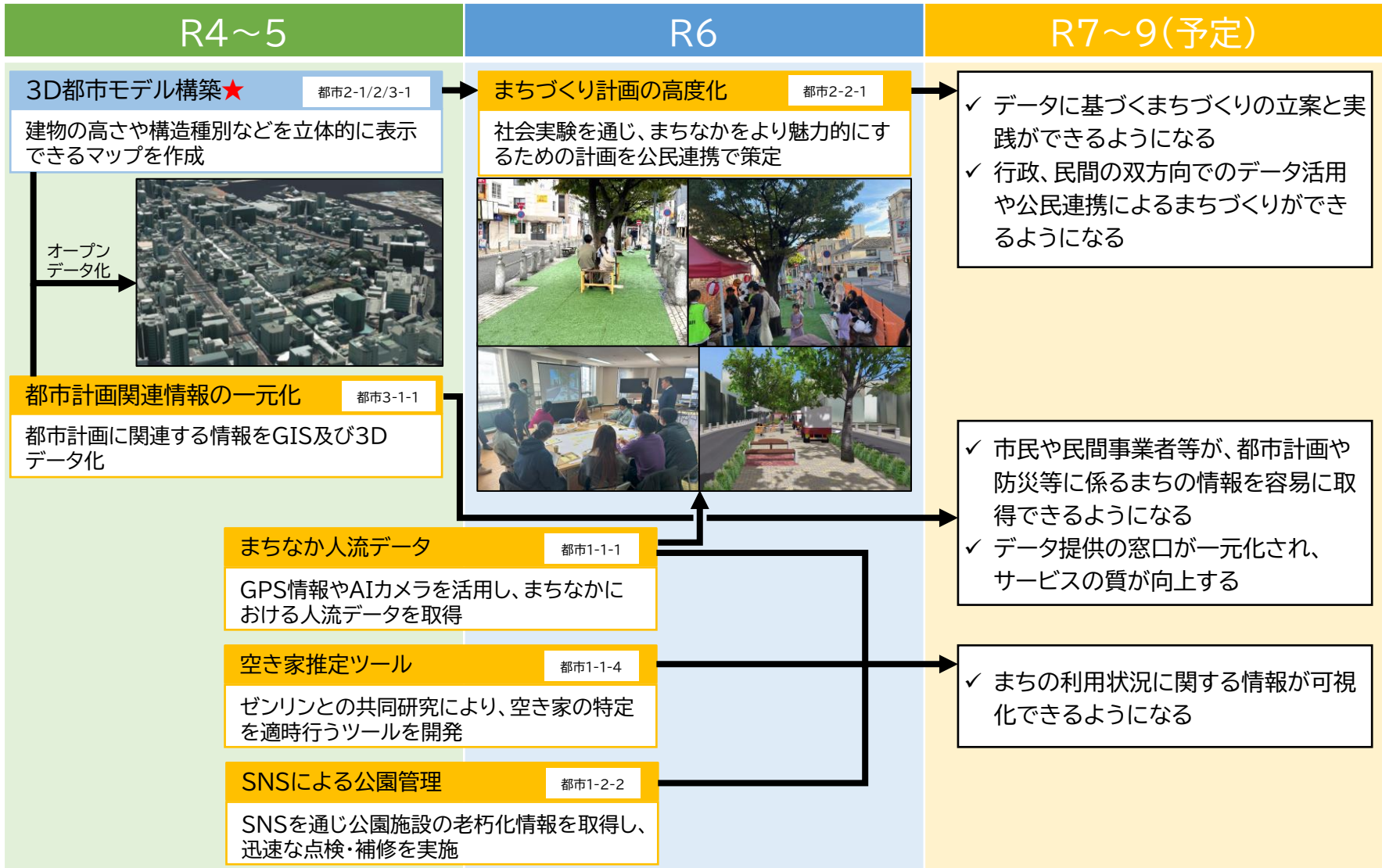
【都市整備分野】 高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

《進捗概要》

- 平常時と社会実験時におけるまちなかの人流データを取得し、その変化の状況を把握・分析した。3D都市モデルを活用し、将来利用を見据えた
- 今後は、まちに関係する各種データを収集、分析、オープンデータ化することにより、各種政策課題の解決を図るとともに、市民／事業者がデータを活用できるようにしていく。

《令和9年度の到達像》

- 行政、民間の双方向でまちの様々なデータを活用し、市民の住みやすさ向上のため公民連携のまちづくりを進めることができる。
- 市民や民間事業者等が、都市計画や防災等に係るまちの情報を容易に取得することができる。



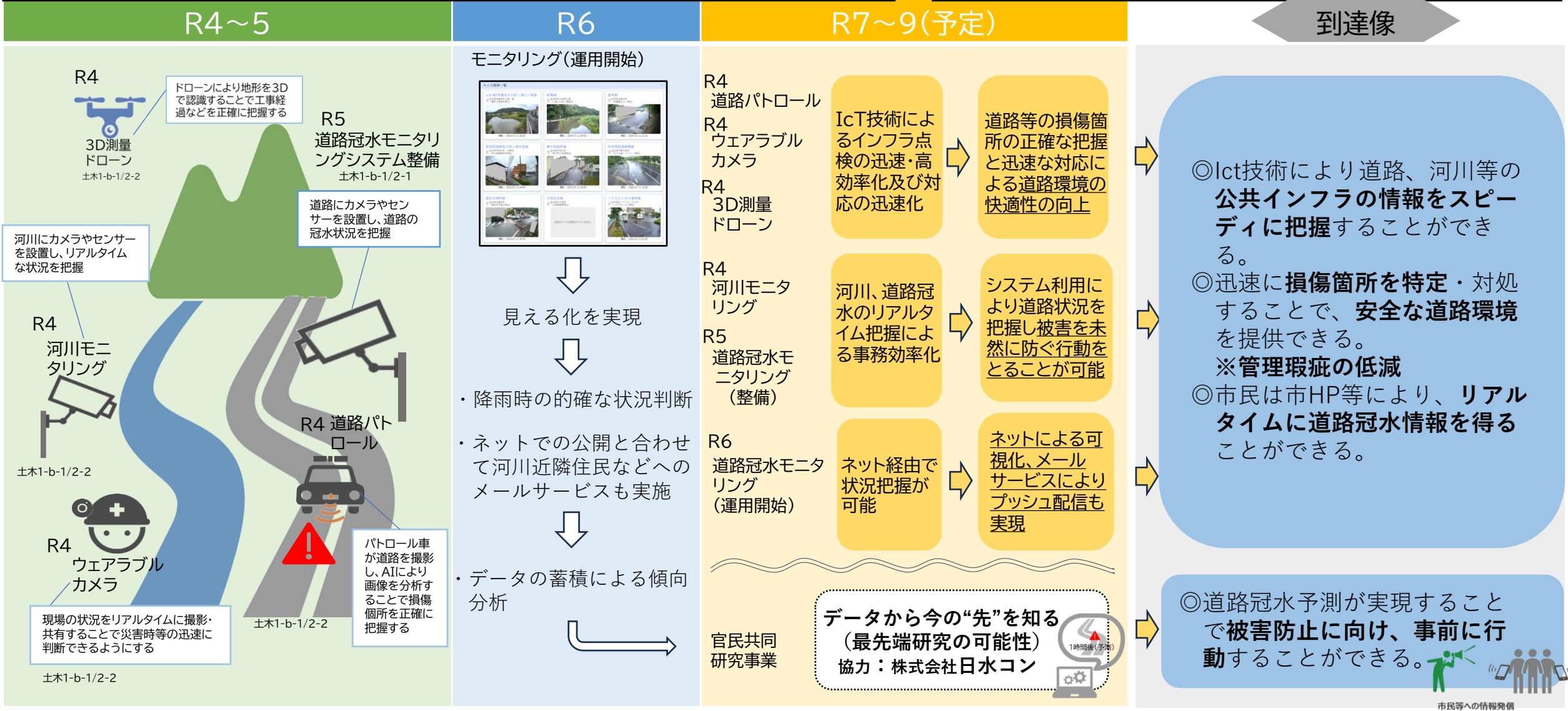
【土木分野】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

《進捗概要》

- R4～R5:土木インフラの状況把握のため、デジタル技術を活用(予定箇所配備済)
- R6:モニタリングの運用開始により、ネット経由での状況把握、メール通知実現
- 令和7年度以降は、インフラ管理のデータ分析を推進し、冠水予測の実現を目指す

《令和9年度の到達像》

公共インフラ情報のデータ化が進んでおり、インフラに起因するトラブルが少ない安心・安全なまちになっている。



【保健福祉分野】 デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

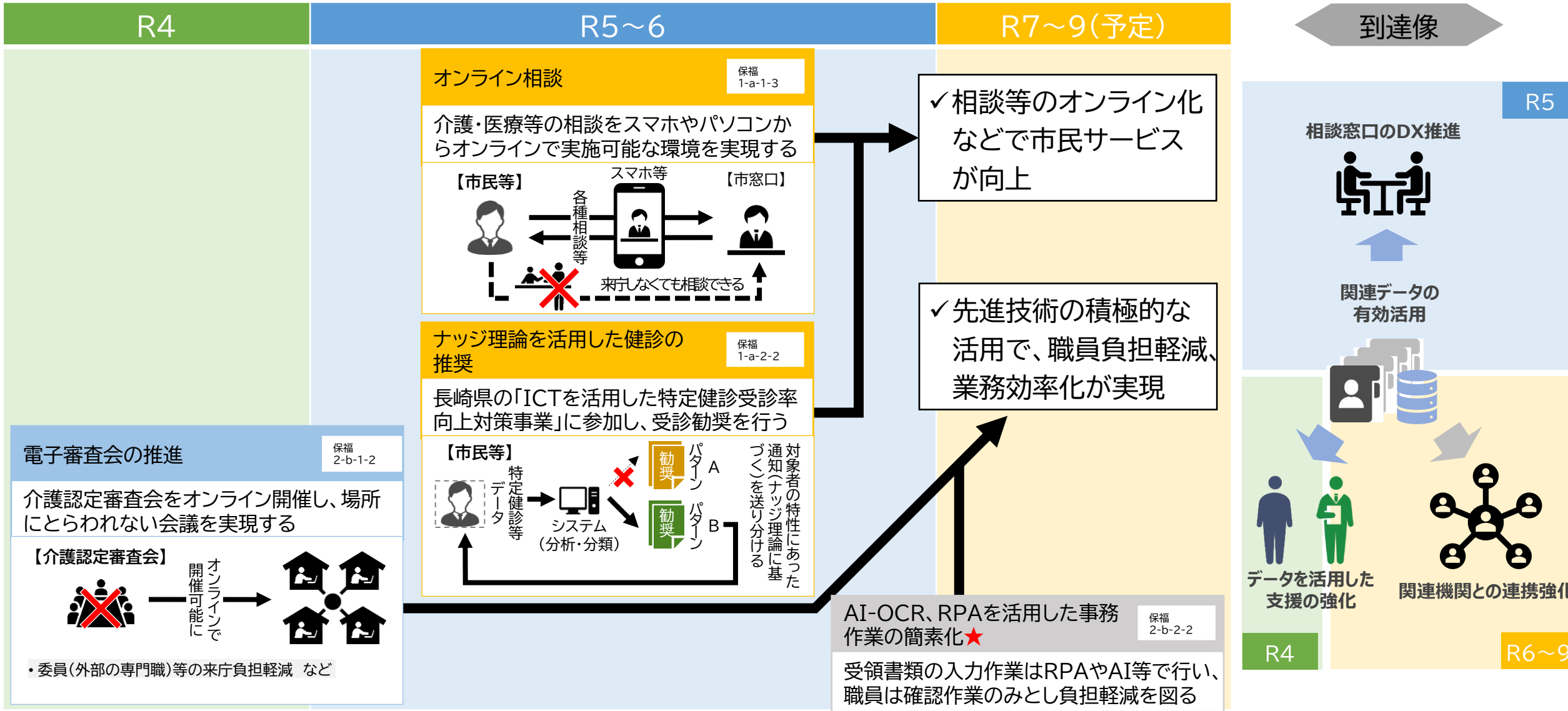
《進捗概要》

- 手続きや相談のオンライン対応を進め、KPIであるオンライン対応手続き数は、ほぼ予定どおり進捗したが、相談窓口数、オンライン申請の利用率が目標を下回った。
- 令和7年度以降は、オンライン対応可能な業務の拡大に努めるとともに、オンライン申請の窓口等での周知を行い、利用率増加を図るなど、先進的ICTの活用を進め、業務効率化を図る。

《令和9年度の到達像》

相談のオンライン化等で市民サービスの向上が実現でき、DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる

先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的な支援体制の構築し、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化される



【防災分野】 適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

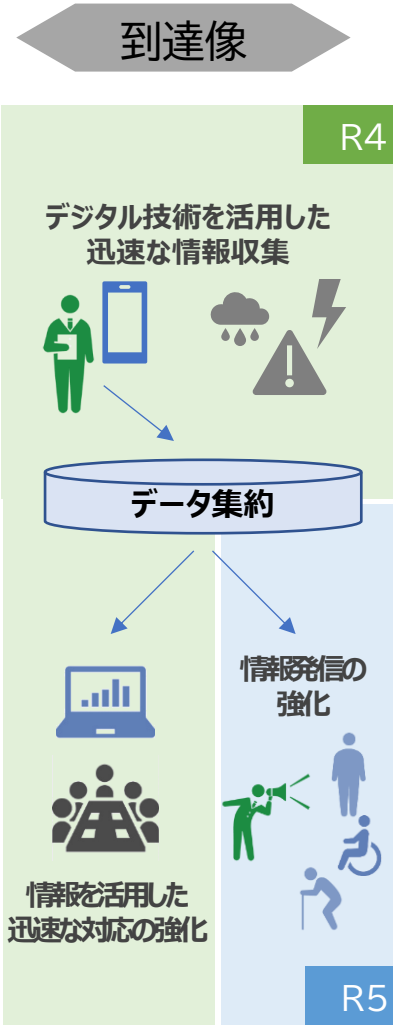
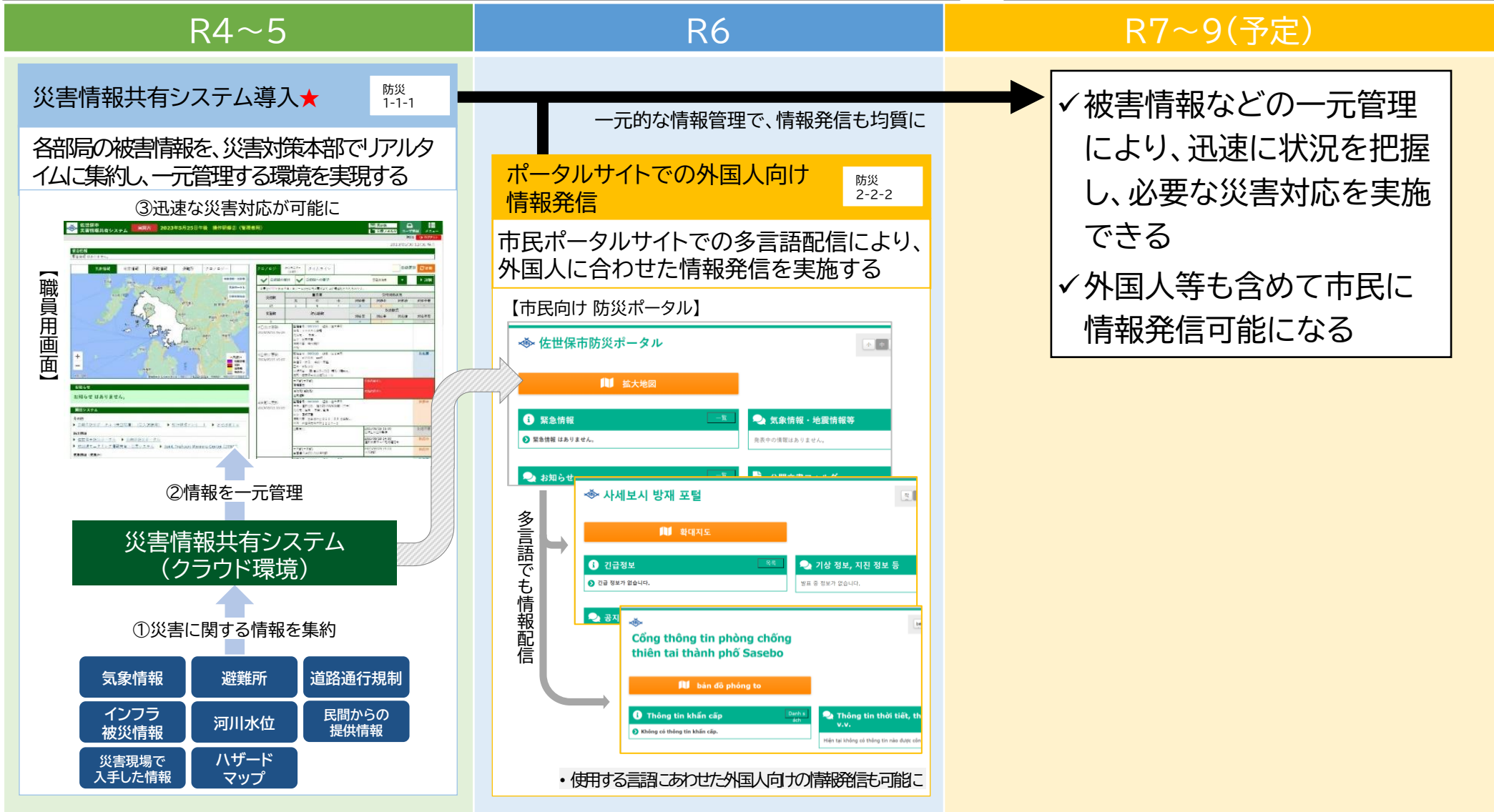
《進捗概要》

- 災害情報共有システムを構築し、令和5年6月から運用開始。KPI(情報集約のシステム化率=100%、情報発信チャンネル数=11)も予定どおり進捗。
- 令和7年度以降も、引き続きシステムの活用して、迅速な応急対策やタイムリーな情報発信を行っていく。

《令和9年度の到達像》

災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる

多様な市民へも対応できる情報発信ができています



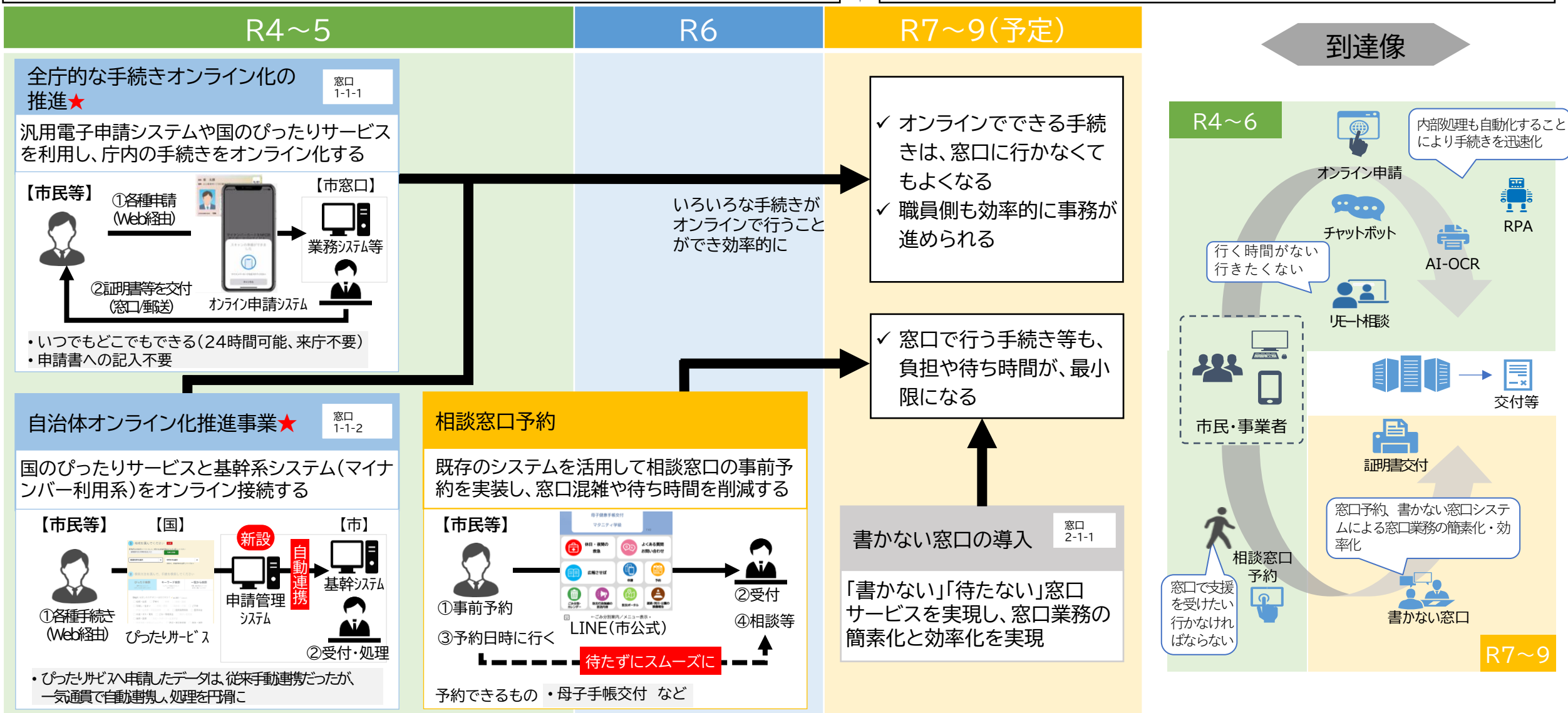
【窓口分野】 行かなくてもよい&待たない窓口

《進捗概要》

- オンライン対応手続きは拡大しているが、利用率の向上が課題。広報活動・導線改善等に取り組む。
- オンライン相談対応について、対応可能な業務を順次実施したが、業務内容によっては対応難しく目標未達。周知と業務の再洗い出しで対応業務を拡大する。利用定着に向け周知等を行っていく。
- 窓口予約対応手続き数は、市公式LINEの予約機能追加もあり、予定を上回る進捗。

《令和9年度の到達像》

窓口に行く時間がない、行くことが困難な市民・事業者は、手続きをオンラインで行うことができる
窓口での手続き等も最小限の待ち時間でサービスを受けられる



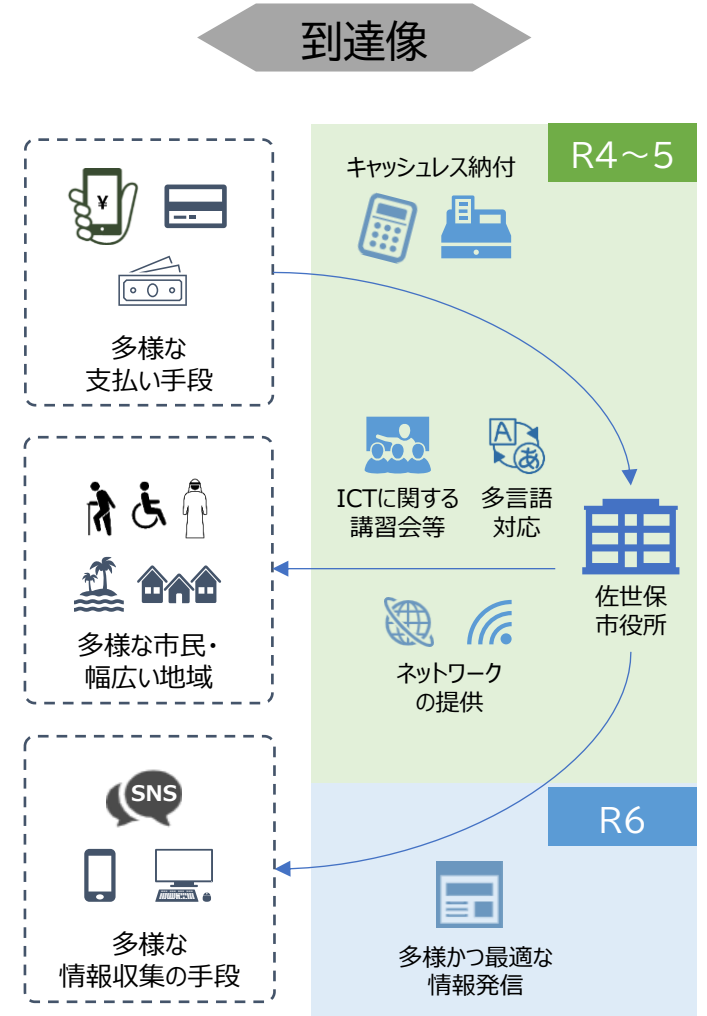
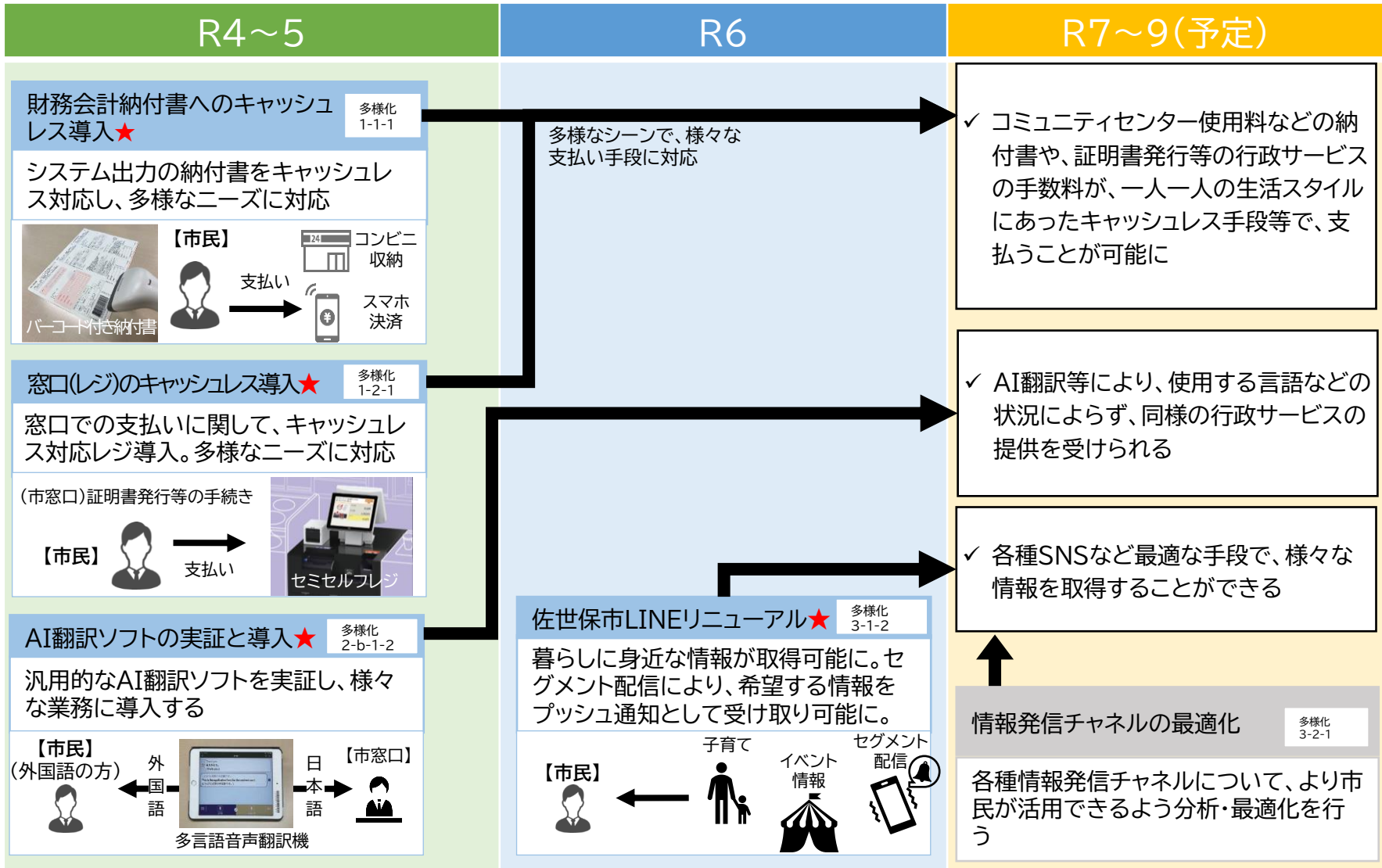
【多様化分野】 多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所

《進捗概要》

- 納付書や窓口手数料のキャッシュレス化を実施したが、KPI(キャッシュレス決済利用率)は、納付書:5.7%(達成率81.4%)、窓口:15.2%(達成率50.7%)という状況
- 令和7年度以降も、取り組みを継続するとともに、キャッシュレス対応については、利用率の定着・向上を目指し周知・広報を行っていく。

《令和9年度の到達像》

市民・事業者は、行政サービスの各種支払いでキャッシュレスを選択できる。また、年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受できる。市役所が発信する情報を最適な手段で取得することができる。



【業務効率化分野】 デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

《進捗概要》

- RPA・AIやBIツールなどを導入しており、KPI4件(広聴システムでの満足度、RPA等による削減効果時間、電子決裁率、データの見える化対応業務数)は概ね予定どおり進捗
- 令和7年度以降は、到達像の達成に向けて、自動化の対象業務の拡大やBIツール・生成AIを職員が活用できるよう育成等に取り組んでいく。



《令和9年度の到達像》

単純な事務作業は自動化・効率化されており、職員が様々なデータを利活用し、職員にしかできない課題解決等の業務に注力できている。

R4~5

R6

R7~9(予定)

AI-OCRの導入と活用★
業務効率化 2-a-1-2
手書き文字を、データ化する

文字起こしAIによる議事録の自動化★
業務効率化 2-a-1-4
議事録作成作業を文字起こしAIにより自動化する

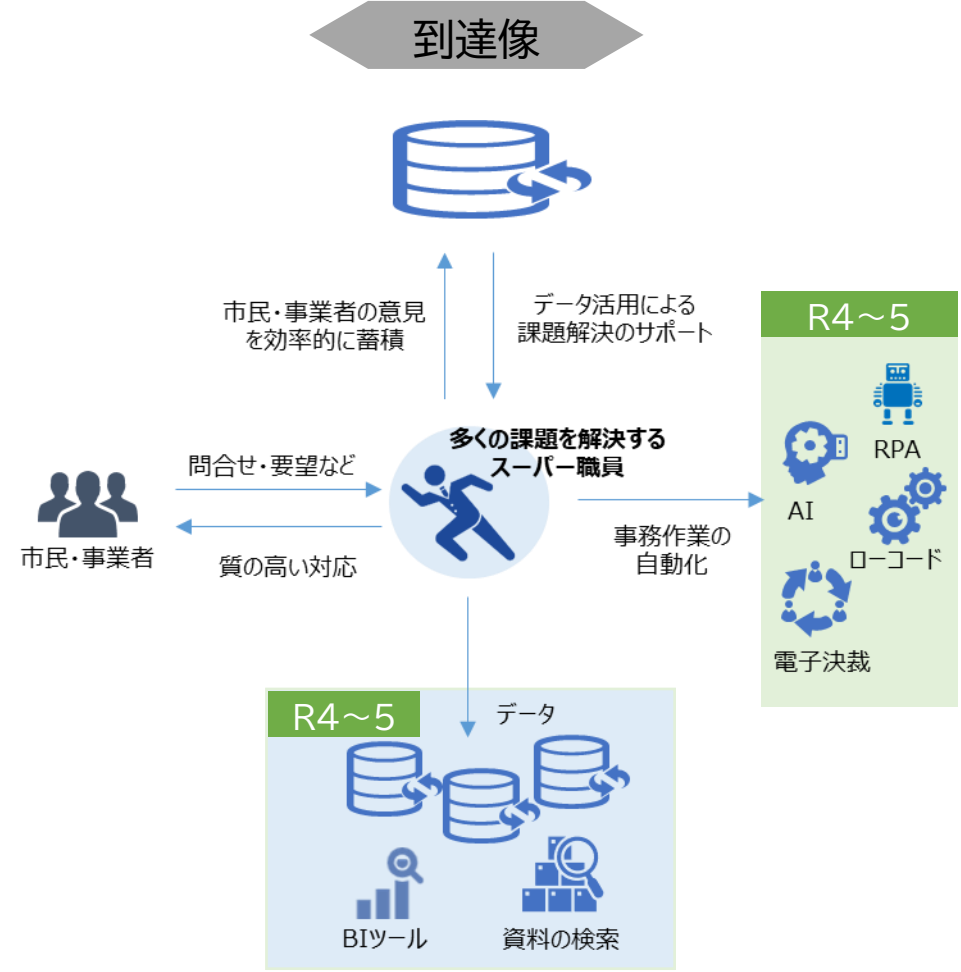
RPAの導入と活用★
業務効率化 2-a-1-1
単純なパソコン作業を自動化する

BIツール等を用いたデータの見える化
業務効率化 3-1-1
データを分析・可視化することで、課題解決・意思決定等を補助する

組み合わせることで、より効果的になる。

生成AIの業務活用
佐世保市専用の生成AIを全庁的に導入し、業務効率化を図る

RPA・AI等により削減できた時間を、BIツールを用いた高度なデータ分析を行う時間に充てることができ、データに基づいた精度の高い施策を行うことが可能となっている。



【職場環境分野】 職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

《進捗概要》

- モバイルPC導入・テレワーク環境整備などを実施しており、KPI2件(オンラインコミュニケーションの利用率、ペーパーレス度)は予定どおり進捗
- 令和7年度以降は、到達像の達成に向けて、モバイルPC導入の拡大や職員が導入済みのツールについて、より活用できるよう取り組み、併せて標準化対応も行う。

《令和9年度の到達像》

職員の働き方が変革され、市民サービスの向上や事務の効率化がなされている。

R4～5	R6	R7～9(予定)
	スマートワーク環境の整備★ 職場環境 1-a-1-1 1-b-2-2	
モバイルPC 試行・先行導入 【対象】 三役、部局長、本庁一部等	モバイルPC 本格導入 【対象】 1,000台	モバイルPC 本格導入 【対象】 R7:850台
庁内テレワーク 環境構築 自席以外でもPCを使用可能とするために、段階的にWi-Fiを庁内に整備		
庁外テレワーク 環境構築 庁外でもPCを使用可能とし、庁内ネットワークにアクセスできる環境を整備		
		↓
		✓ 時間・場所にとらわれないスマートワーク環境
		基幹システムの標準化★ 職場環境 2-2-1 国が示すシステム標準化の指針に従い、基幹システムの標準化対応を行う

●モバイルPC

- ・(フリーアドレス)庁内Wi-Fiにより、どこでも仕事ができる。
- ・(ペーパーレス)会議では、各自パソコンを持ち寄ることで、紙資料の配付が不要になる。
- ・(リモートワーク)庁外でも庁内ネットワークに接続できることで、リモートワークが可能。

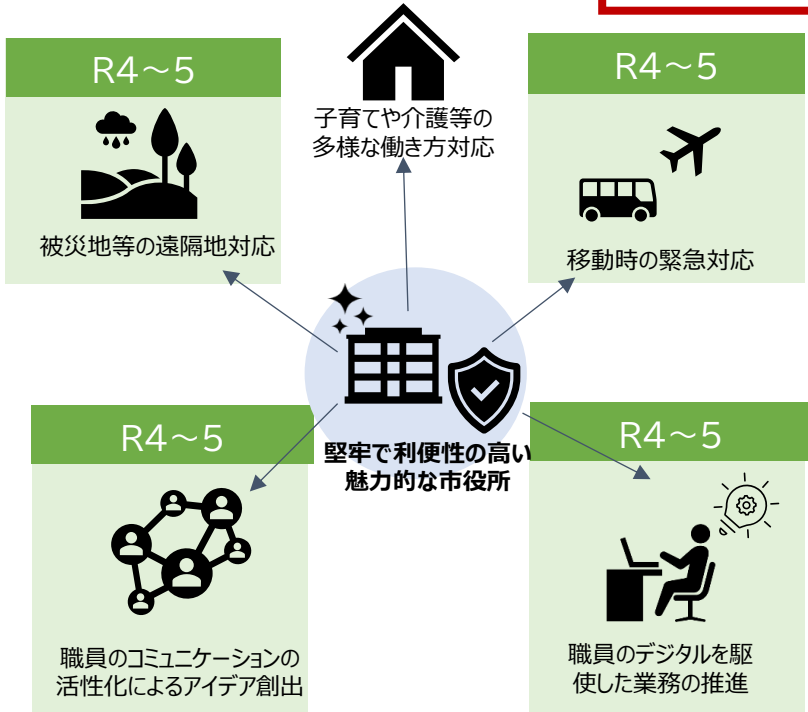
到達像

●デュアルディスプレイ

- ・モバイルパソコンの画面を拡張することにより、大画面での資料閲覧が可能。

●ビジネスチャットツール

- ・(ペーパーレス)課内の情報交換・資料共有をビジネスチャット上で行うことで、資料を印刷する必要がなくなる。



凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
データ活用による戦略策定と観光力強化	1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析	【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援	【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス	【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析	【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画		■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができています。 ■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。
	1-2 データに基づいた戦略の策定	【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム	【観光1-2-2】データ分析による需要予測		【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測		
	1-3 事業者と連携した地域の観光力強化	【観光1-3-1】事業者等との情報共有					
デジタルプロモーションの推進	2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	【観光2-1-2】デジタルパンフレット	【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み	【観光2-1-4】デジタルマップの活用	【観光2-1-5】各種商品券の電子化		■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加しています。 ■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。
	2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進	【観光2-2-1】デジタルトラベルガイドの導入					
最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲)		3-a-2 メタ観光ニーズへの対応	【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供			■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。
			3-b-2 最適な移動手段情報の提供	【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供			

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
モニタリングデータの実証検証を経て、得られた分析結果から観光客の動向や消費行動等の細かな傾向や特異点を見出すことで、観光施策の課題をより明確にし、事業効果の仮説整理をより精緻化していく。 また、観光情報発信の在り方についても、デジタル技術の発展(AI精度の向上等)に注視しながら、情報の受け手である観光客への適正かつ即時性を追求した手法の取入れを行っていきたい。	●令和6年度は取得した観光マーケティングデータを、内部での施策立案の根拠や事業効果検証に活用を行った。また、事業者の活用にあたっては、交通キャリアをはじめ、宿泊施設、シンクタンク等と意見交換を行い、データ活用の可能性について研究を行った。 ●観光庁の「観光DX推進に関するマーケティング強化モデル実証事業」に採択され、佐世保市の観光商品の購買データの取得と分析を行った。 ●今後は現在公開しているマーケティングレポートと事業者が持つデータとの比較、分析を行うことで、活用の幅を広げていく。 ●デジタルプロモーションにおいても観光マーケティングデータから観光客のニーズを把握し効果的な情報発信を行う。 ●令和7年度の取り組みとして、一般社団法人九州観光機構と連携して観光庁の「観光DX推進による地域活性化モデル実証事業」に申請しており、新たなデータの取得とデータ分析の精度を高めていく。

R6年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	データ活用による戦略策定と観光力強化	○: 予定どおり	県と連携し宿泊予約情報やキャッシュレス決済のデータ収集を検証することとし、観光客の行動結果の分析にとどまらず、行動等の予測も行うことで市内事業者等の経営計画や仕入れの効率性に役立つ情報へと、データ分析の精度を高めていく。 また、個人旅行客の増加に伴って多様化する旅行の志向性等に対応できるよう、観光施策の実効性をより高めることが重要となってくることから、分析結果から課題を抽出するスキルの向上にも併せて取り組んでいく。	○: 予定どおり	●佐世保観光コンベンション協会のステークホルダーに対してマーケティングレポートを公表と発表を行った。 ●また、日常的にデータの利活用について市内事業者にはヒアリングを行い、マーケティングデータの見直し検討を行っている。 ●今後は、現在取得しているeコイン等の購買データの活用の検討を行う。	
2	デジタルプロモーションの推進	○: 予定どおり	技術的検証を行いながら、最適なxRの導入について引き続き検証を行う。観光スポットにおけるデジタルガイド機能の提供を強化し、観光客に観光資源への理解や興味を深めていただけるよう、紙媒体に比べて内容的にもさらにわかりやすい情報の発信を実現させていくことで、観光資源の魅力の最大化を図る。 また、掲載する情報についてもこのような情報発信媒体の利用実態などのデータ分析結果を踏まえながら、発信内容の磨き上げ(見直しや追加等)を継続して行っていく。	○: 予定どおり	●文化財課等と連携し、針尾無線塔、山ノ田貯水池、岡本貯水池等におけるxRを活用した動画等の公開を引き続き行っており、その他施設の公開を検討している。 ●SNS等を活用したデジタルプロモーションにおいては、国の特別史跡に認定された福井洞窟の紹介をするなど多面的な情報発信を行った。	
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	○: 予定どおり	MaaSアプリ STLOCALへ、多様化する観光客の志向性に対応するための多彩なモデルコースやおすすめの観光モデルの掲載を推進していく。 また、いままでに紹介の頻度が少なかった地元おすすめの食事や遊び方など、観光客が具体的に楽しみ方をイメージできるような提案型観光情報発信を目指していく。	○: 予定どおり	●佐世保観光マイスターによるMaaSアプリ STLOCALの観光モデルコースの造成を行った。 ●モデルコース内に佐世保市および小値賀町の様々な分野の観光地を組み込むことで、日本遺産のPRやサイクルツーリズム、「海風の国」観光圏の連携につながる取り組みとなった。 今後は、掲載したモデルコースの閲覧数を分析し、観光客のニーズを把握する。	

【R6】

重点課題 KPI の評価

01 ≪まちづくり≫

01【観光】デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上

1	データ活用による 戦略策定と観光力 強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データを活 用した事業 立案数	予定			5	6	7	8	8	事業提案の際には事前に市場 調査等を行いデータに基づく 展開を行うこととしている。新 規事業の提案数として5件程 度とした。R6以降は1件ずつ増 加させ、年8件を目指す。	引き続き、事業効果検証の ために、事業関連施設にお ける入込客数の前年度比較 や新規事業の企画、立案時 のターゲット層の確認、本市 における課題の解決に向け た仮説等の検証に活用して いる。
			実績			7	7					
		民間事業 者へのオー プンデータ 提示数	予定			3	5	7	7	7	宿泊施設をはじめとする観光 関連事業者に対し、市が提供す る観光関連データ分析結果の ダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関する 旅行者動向に関するダッシュ ボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを 想定	マーケティングレポートとして月に1 回の頻度で作成、公開している。 マーケティングレポートは佐世保観 光コンベンション協会や佐世保市 ホームページにて公開するとともに コンベンション協会の賛助会員等 に対してメール配信や旅館ホテル協同 組合等に紹介を行い周知に努めて いる。 また、事業者向けにマーケティング レポート活用についてのセミナーを 予定している。 事業者と意見交換を行い、マーケ ティングレポートの活用方法につい て検討している。
			実績			13	13					

2	デジタルプロモーションの推進	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		デジタル化 されたプ ロモーション 件数	予定	10	15	20	20	20	20	20	SNSを利用したプロモーションは現在も10本程度実施しており、今後はターゲットを細かく設定して件数を伸ばす。	SNSを利用してイベントやツアー等のプロモーション設定を可能な限り行っている。
			実績	10	16	20	25					

3	最適な観光ルート 提示等による訪 れたい佐世保市の構 築	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		観光ルート のアクセス 数/利用者 数	予定	25,000	27,500	30,000	33,000	176,000	184,000	193,000	令和5年度のモデルコースのサイト閲覧数が令和4年と比較し5%増であったため、令和7年度から令和6年見込みの毎年5%増を見込む。	個人旅行者に対応するため、令和6年度において、観光マイスターを活用し、新規モデルコースを作成することで、サイト閲覧数の増加を図る。
			実績	55,584	151,246	160,116	151,507					

【R6】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01 «まちづくり»

02【農林水産】デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
担い手の確保・継続・育成			1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化				■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組めている。 ■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係を構築できている。
生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現			2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援) 【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産 【農水2-a-1/2-3】農業散布用ドローン等 【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測 【農水2-a-3-1】生産者への情報共有のデジタル化				■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。 ■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。
安心・安定して生産できる環境の整備			3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業				■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
【農業】農地の貸し借りをWEB上でマッチングする仕組みについても引き続き状況を注視し、環境制御機器等によるスマート化を中心に支援を行う。 【漁業】水産センターでの調光システム及び水質センサー3台により効果検証を行う。 【監視装置】テレメータによる赤潮の早期検知システムを増設して運用を行い、より安心安定して生産できる環境の整備を図る。 【鳥獣】令和5年度に実証実験(小規模)及び改良を加えたデバイスを用い、市内(広域)での捕獲実証実験を行う。	【農業】令和6年度は10戸において外観計測装置機器の導入を図った。また次年度以降のスマート化推進に向けた検討を実施した。 【漁業】IoTによる給仕管理については、効果検証中。既存生産魚種生産にかかる水質データを引き続き検証している。 【赤潮監視装置】令和6年度は、長崎県内において過去最大の赤潮被害(約15億円)が発生。6月から8月上旬にかけて佐世保市周辺海域においても有害赤潮が発生したが、監視装置があることにより対策の初動が迅速化され、県内他域と比較し、被害抑制が図られたことから、引き続き設置する。 【鳥獣】デバイスは市内の林野部に設置している。捕獲対象外である幼獣が箱罠に入った際にセンサーが反応しないことは確認できた。しかし、捕獲対象である成獣が箱罠に入っていないことから、センサーが正常に作動するかどうかの検証ができていない。

R6年度の事業総括							
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1	担い手の確保・継続・育成	○: 予定どおり		○: 予定どおり	【農業】R6年度の農業参入企業等支援事業において、参入予定企業(本社が愛知県)とのWEB面談を1回実施した。今後も相手方が遠方であるなど、求めに応じてオンラインでの面談を行っていく。		
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	○: 予定どおり	【農業】「農業のスマート化推進」の3年目として、環境制御機器等によるスマート化などを中心に引き続き導入に向けて検討し支援する。 また令和6年度から新たに畜産分野においてもスマート機器の導入を進める他、生産者への情報共有のデジタル化、オンラインによる直売にも併せて取り組んでいく。 【漁業】水産センターでのIoTによる給餌管理実現のため、令和5年度に3基の水質センサーを導入し、実証検証を令和6年度に行う。令和7～9年度の3ヶ年で残り8基の水質センサーを導入する。 「需要データ」の情報発信については、生産物の需要予測を行政が担うことに向かないため、営農記録及び情報共有に関してデジタル化を図ることで生産性の向上を目的に「生産者への情報共有のデジタル化」へ見直した。	△: 遅れている	【農業】R6年度は10戸において外観計測装置機器の導入を行った。また、次年度以降についても、導入に向けた検討を実施した。 【漁業】・IoTによる給仕管理については、効果検証中。既存生産魚種生産にかかる水質データを引き続き検証している。 ・水産DXについては、一部漁業者でスマート水産業機器(漁労用カラービデオプロッタ)の導入が進められており、今後も機器の最新情報や活用事例の共有を図ることで漁業者のIoT活用を推進する。	【漁業】・水産DXについては、漁業者の高齢化もあり、受入れに難色を示し普及が十分に進んでいない。また、企業の協力により一部の若手漁業者に対し、デモ機の無償貸出を提案したが、①水揚げ量の増加に直結するか疑問。②研究・調査機関のみとは言え、自分の漁場が公開されることに対する不安。上記踏まえ、安いものではないため、購入してまで導入しようとは思えない。といった声があり、アプリ導入のハードルは依然高い。一方で、ICT機器ではあるが、赤潮監視装置の設置に対して、養殖漁業者から一定の評価を得ているため、今後はアプリ以外にも、IoTに関連する機器の導入といった視点で漁業者に波及させる。	
3	安心・安定して生産できる環境の整備	○: 予定どおり	【鳥獣】令和5年度に実証実験(小規模)及び改良を加えたデバイスを用い、市内(広域)での捕獲実証実験を行う。 【赤潮監視装置】令和4年度に設置後、赤潮による漁業被害の発生はなく、漁業者にも非常に好評で増設要望がなされている。令和6年度は、広域連携事業として赤潮監視装置を増設し、さらに広域でのモニタリングを行い、より安心安全な生産環境を整備する。	△: 遅れている	【鳥獣】デバイスについて、捕獲対象外である幼獣が箱罠に入った際にセンサーが反応しないことは確認できた。しかし、捕獲対象である成獣が箱罠に入っていないことから、センサーが正常に作動するかどうかの検証ができていない。 【赤潮監視装置】令和6年度は、長崎県内において過去最大の赤潮被害(約15億円)が発生。6月から8月上旬にかけて佐世保市周辺海域においても有害赤潮が発生したが、監視装置があることにより対策の初動が迅速化され、県内他域と比較し、被害抑制が図られたことから、引き続き設置する。	【鳥獣】当初検討していた赤外線センサ及びサーモセンサ使用の機器では、イノシシの捕獲精度が低いことが判明したため、赤外線センサを外し超音波距離センサに変更したことによる。 実施年度は後ろ倒しになったが、実証実験ということもあり、到達像への影響はない。	

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	担い手の確保・継続・育成	新規就農 などオンライン・デジタルによる 相談数	予定	プロジェクトの検討と合わせて整理し設定する							プロジェクトの検討と合わせて整理	-
			実績									

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	IoT等を活用した農家数	予定	5	18	28	44	62	82	102	これまでの実績及び佐世保市農畜産物全般を対象としたスマート化・高品質化支援事業の計画	R6は新たに10戸のスマート機器導入を行った。R7においてもスマート機器導入に関する要望があることから、今後も事業の周知に努め、農業スマート化を推進する。
			実績	5	18	22	32					
		IoTを活用した漁業者数	予定			30	40	40	40	40	漁協聞き取り	漁業者の高齢化もあり、受入れに難色を示し普及が十分に進んでいない。また、アプリの潮流予測についても漁業者から指摘もあることから、アプリの改良の進捗状況の確認および広報を続けていく予定としている。
			実績			0	0					

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
3	安心・安定して生産できる環境の整備	IoTを活用した鳥獣検知箇所数	予定					3	3	3	実証実験の結果に基づき設定	-
			実績									
		IoTを活用した赤潮検知箇所数	予定		1	1	3	3	3	3	設置予定台数から算出	計画どおり実施できた。
			実績		1	1	3					

01 «まちづくり»

03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない子育て支援

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	1-a-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						■子育てに関する手続きのオンライン化やワンストップ化により、子育て世帯の手続きの利便性の向上が実現できている。 ■子育て世帯それぞれに合わせ、子育てに関する様々な情報をプッシュ型通知などで積極的に発信することで、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども1-a-1-1】オンライン対応可能な手続申請						
	1-b-1 子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上						
	【子ども1-b-1-1】プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充						
	1-2 子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化						
	【子ども1-2-1】オンライン申請利用率の向上						
地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	2-1 新たな技術を活用した子育て支援の推進						■先進技術やデータの活用により、地域一体での子育て支援の更なる拡充と職員の業務効率化の双方を実現できている。 ■データに基づいた施策立案により、複雑化する市民ニーズへの対応を強化し、子育てしやすい環境が実現できている。
	【子ども2-1-2】オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)						
	2-2 子育て支援に必要なデータの取得・分析						
	【子ども2-1-3】地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携						
	2-3 データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応						
	【子ども2-2-1】子育て関連情報の一元管理						
	【子ども2-3-1】AIデータ分析による業務活用						

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
○令和5年度にすべての放課後児童クラブ等においてオンライン申請が実施可能となったが、さらに、Googleフォームを活用した、児童クラブ職員向け研修実施時の受講者とりまとめ・アンケート集約等におけるオンラインシステムの更なる活用を図ることで、利便性向上、及び、業務の効率化を推進する。 ○子育て世帯等にとって「簡単で便利な手続き」を継続して提供できるように、引き続き研究を行いながら、可能な限り実現を図る。 ○「子育てに関する手続きや相談」・「窓口対応」・「情報発信」等に関し、DXコーディネータとの協議・検討を行った上で、最適な手段・対応を検討する。	○「子育てに関する手続きや相談」・「窓口対応」・「情報発信」等に関し、DXコーディネータとの協議を行い、最適な手段・対応を検討した。

R6年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現	○:予定どおり	オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。 ○今後は、オンライン申請率の向上に向けて対策を検討する必要がある。	○:予定どおり	オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。 オンライン申請率の向上に向けて検討する。	
2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	○:予定どおり	①オンライン申請の更なる活用で、効率化を目指す。 ②子育て支援の実現に向けた必要なデータの整理や取得方法・関連する規制等については、専門的な知識・ノウハウも必要であり検討していきたい。	○:予定どおり	①オンライン申請の更なる活用で、効率化を目指す。 ②子育て支援の実現に向けた必要なデータの整理や取得方法・関連する規制等については、システム標準化等、国の動向に合わせた対応が必要となるため、その推移を注視しながら検討する必要がある。	

【R6】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

03【子ども・子育て】地域を含めた切れ目のない子育て支援

1	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続き数	予定	16	77	90	90	95	95	95	オンライン対応可能な手続き調査(オンライン申請実施計画)に基づき設定	R6新規手続5件あり R7以降それぞれ5件増予定
			実績	19	84	95	100					
		オンライン申請利用率	予定	10.0%	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)	対応可能なものから順次実施している。
			実績	33.4%	24.0%	46.2%	50.4%					
		プッシュ型通知登録数	予定	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	90.0%	90.0%	90.0%	R6まで させばっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規交付者数(年度ごと) R7以降 させばっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	母子健康手帳交付者のうち、第二子目以降の対象者は既に登録済である場合が多いことから、真に登録が必要となる対象者に限定するもの
			実績	78.0%	46.2%	45.4%	39.1%					

2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応相談窓口数	予定	1	2	3	3	3	3	3	相談に係る主要3事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・乳児家庭全戸訪問)	引き続き現在の実施体制を継続する。(整備完了)
			実績	1	2	3	3					
		オンラインネットワーク連携施設数	予定			50	73	73	73	73	オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数	令和5年度整備完了 令和6年度新規1施設開設
			実績			73	74					

【R6】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

05【都市整備】高度なデータを活用した住みやすいまちの実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	1-1 まちづくり計画に必要となる人流情報の把握 【都市1-1-1】人流データの把握	【都市1-1-4】空き家状況の把握					■人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。 ■行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。
3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	2-1 3D都市モデルの活用 【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築業務	2-2 3D都市モデル等を活用したまちづくり計画の高度化と市民へのわかりやすい情報発信 【都市2-2-1】3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化					■取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。 ■データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。
データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）		3-1 土地利活用に関する情報提供システムの一元化 【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム					■市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。 ■データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
令和5年度において可視化したデータや分析・公表を行うデータの情報共有を図り、3D都市モデルの幅広い活用を行う。	R5年度に構築した3D都市モデルやAIカメラ等により取得した人流データを活用したまちづくり計画の検討等を行った(まちなかウォークアブル推進事業)。また、3D都市モデルの庁内活用促進を図るとともに、都市計画関連情報を公開、オープンデータ化し、窓口業務での活用やその効率化を行った。

		R6年度の事業総括					
		進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	○: 予定どおり		取得したデータについては、継続し経年での変化を把握する。	○: 予定どおり	まちなかウォーカブル推進事業に取り組む中で、事業箇所やその周辺の人流データをAIカメラやGPSを活用して取得し、まちづくりの提案に活用することができた。今後は事業後の変化を把握するために活用する予定。	
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	○: 予定どおり		将来的に多岐に渡る庁内業務や施策検討において、定量的な根拠データとして3D都市モデルを活用できることを目指し、3D都市モデルの活用方法について、庁内展開を図っていく。	○: 予定どおり	各種施策の課題解決に向けて、各部局に対し、3D都市モデルの活用事例紹介等を行い、利活用促進を図ったことにより、3D都市モデルの認知は進んだと評価しているものの、引き続き周知啓発を行い利活用を促進していく。	
3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）	○: 予定どおり		都市整備で新たに構築したデータについて、3D都市モデル上でさらなる重畳を行っていく。	○: 予定どおり	3D都市モデルにおいて一元化した、都市計画関連情報を市民や民間事業者へ公開、オープンデータ化したことで、一定の窓口業務の効率化、負担軽減を図られた。今後も更に都市情報を重畳することで、市民サービスの向上と業務効率化を推進する。	

1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイムで取得する情報の利用率	予定		100%	100%	100%	－	－	100%	人流・交通量データの利用率（リアルタイム情報の把握をする際、当該施策検討におけるデータ活用の必要性和有用性を必ず確認した上で、取得したデータを活用できたかどうか）	今後の施策展開に必要な施設や区域を選定し、現況や実態のデータ分析を行い、想定通りの活用ができた。
			実績		100%	100%	100%					

2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数	予定			3	3	3	4	5	構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。	予定通りの進捗が図れている。
			実績			3	3					

3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		都市計画に関するオープンデータ数	予定			5	6	7	8	9	Web上で閲覧できる情報（オープンデータ）の項目数	予定通りの進捗が図れている。
			実績			5	6					

【R6】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01 «まちづくり»

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施 【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進	1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム	【土木1-b-2】河川モニタリングシステム 【土木1-b-3】ウェアラブルカメラの活用 【土木1-b-4】道路パトロールの動画活用システム				■ドローンを多目的に活用(空撮・3D測量等)し、i-Constructionを推進している。 ■IoTを活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。 ■ICT機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。
AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析	【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報		【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム			■道路・河川等のモニタリングにより、緊急時の対応の迅速化が実現できている。 ■インフラ情報をAI技術等により分析を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所の抽出などが実現できている。
インフラ情報のリアルタイム発信		3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信 【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信					■IoTの活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信(公開)が実現できている。

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」として、ドローンによる3D測量等や道路モニタリングの本格運用を行うとともに、AI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について研究を行う。	「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」として、ドローンによる3D測量等の実務への本格利用、道路モニタリングについてもシステムの本格運用を開始し、特に外部へのリアルタイム情報発信については、当初予定より進捗が図れた。今後については、モニタリングにより蓄積されたデータ等を利用し、AI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について研究を進める。

R6年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	○: 予定どおり	ドローンによる3D測量等の多目的活用を実施するとともに、冠水状況の道路モニタリングを行うことで、インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握を行う。	○: 予定どおり	「ドローンの多目的利用の推進」 3D測量等を利用し、道路新設、改良工事の事前説明用の資料作成や測量の確認補助等利用範囲を拡大し運用を行った。 「モニタリングによる情報把握」 道路冠水モニタリングシステムが運用開始されたことにより迅速な状況把握が可能となった。 今後についても、ドローンの利活用の拡充等について検討を進める。	
2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	○: 予定どおり	道路パトロールデータのAI分析を実施する。冠水浸水予測システムは、モニタリングによりデータ蓄積を進めるとともに予測システム構築の可能性について研究する。	○: 予定どおり	道路パトロールデータのAI分析を実施した。今後、引続き分析を行うとともに分析結果の効果的な維持補修への活用を試みる。 冠水浸水予測システムの構築に向けて、民間企業との共同研究に向けた協議を進め、令和7年度に協定締結を行う準備を完了した。令和7年度に民間企業との協定締結を行い、システムの構築にむけた共同研究を開始する。	
3	インフラ情報のリアルタイム発信	○: 予定どおり	道路及び河川モニタリングのデータについて、リアルタイム情報発信を開始する。	○: 予定どおり	道路及び河川モニタリングのデータについて、リアルタイム情報発信予定箇所すべてにおいて開始できた。	

【R6】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

1	ドローン・IoT・ICT を活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		ドローン・IoT・ICT による情報把握対象の土木インフラ施設数	予定		11	26	28	30	34	38	ドローンの多目的利用による情報把握施設数及び道路・河川モニタリング箇所数等	計画通りの進捗が図れている。
2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	データ分析対象の土木インフラ施設数	実績		11	26	28					
			予定		1	1	1	1	3	5	冠水・浸水予測システムによる分析箇所数及び道路パトロールデータの AI 分析施設数	計画通りの進捗が図れている。
3	インフラ情報のリアルタイム発信	リアルタイム発信チャネル数	実績		1	1	1					
			予定				2	4	6	8	道路・河川モニタリング箇所のデータのリアルタイム発信のチャネル数(1箇所=1チャネル)	計画以上の進捗が図れている。
			実績				8					

【R6】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01「まちづくり」

07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
気軽に相談できる窓口の構築		1-a-1福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上 【保福1-a-1-3】オンライン相談 1-a-2福祉に関する情報発信の強化 【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨	1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理	1-3 気軽に相談できる窓口の実現 (DX活用による連携強化)			■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。 ■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。
多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援		2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減 【保福2-b-1-2】電子審査会の推進	2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減 【保福2-b-2-2】AI・OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化	【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用			■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。 ■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
オンライン対応手続きの拡大やオンライン対応(ウェブ会議)での対応により、市民目線のあるべき窓口の構築を目指す。 包括的支援(重層的支援体制整備事業)については、令和5～6年度の2か年で移行準備事業を実施することとしており、直接的なデジタル施策を実施する段階にないことから、RPAやAIを活用した事務作業の簡素化など職員負担の軽減を図る取組みに注力する。	オンライン対応手続きについては、対応可能なものから順次実施しており、今後も手続きのオンライン化を進めていく。 オンライン相談窓口については、対応可能なものから順次実施した。ただし、目標には届いていないことから、今後も対応可能な業務の拡大に努めていく。 AI、RPA等のスマートプロジェクトの活用により、業務の効率化を図ることができた。

R6年度の事業総括						
進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1 気軽に相談できる窓口の構築	○: 予定どおり	引き続き、オンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続の拡大を図るとともに、個別のニーズ・必要性に応じて、オンラインでの対応を取り入れ、市民サービスの向上を目指す。	○: 予定どおり	オンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続の拡大を図った。 オンライン相談窓口については、個別のニーズ・必要性に応じて、オンラインでの対応を取り入れ、対応可能なものから順次実施した。ただし、課かいによっては対応しがたいところもあり、目標には届いていない状況にある。今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。		
2 多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	○: 予定どおり	令和7年度からの包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大をさらに推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図る。 電話を介したAIによる自動応答の実証実験の結果、定型的な受け答えで終了する業務が想定できない等の理由で効果が見込めず、部としての導入は行わない見込みであるが、提出された書類をAI-OCRやRPA等で処理することで職員の負担軽減を図る取組みを推進する。	○: 予定どおり	業務効率化を進めるため、スマートプロジェクト(AI・RPA)の利用拡大に取り組んだ。今後も引き続き、利用拡大に取り組む。		

【R6】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

07【保健福祉】デジタルを活用した福祉の高度化による 包括的な支援体制の実現

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	気軽に相談できる 窓口の構築	オンライン 対応手続き 数	予定	8	186	256	256	256	256	256	オンライン対応可能な手続きの 調査に基づき設定	対応可能なものから順次 実施している。今後も手 続きのオンライン化を進 めていく。
			実績	15	154	251	297					
		オンライン 申請利用 率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手 続き総件数(佐世保市オンライ ン申請システムのみ)	対応可能なものから順次 実施し、窓口等で周知をし ているものの目標値を下 回っている。引き続き、窓 口やホームページ等でオ ンライン申請を周知する など、利用率増加を図る。
			実績	5.1%	8.0%	8.7%	15%					
		オンライン 対応相談 窓口数	予定			15	15	15	15	15	オンライン対応窓口数	対応可能なものから順次 実施している。 今後も周知を行うととも に、再度業務の洗い出し を行うなど対応可能な業 務の拡大に努めていく。
			実績			10	10					

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	多様な担い手との 連携による市民一 人ひとりの状況に 合わせた包括的支 援	AI等先進 的なICT を活用す る業務数	予定	85	74	80	85	90	95	100	AI、RPA等の活用により、業務 効率化に取り組んだ業務数を 設定	議事録AI利用実績が大きく伸び、目標を上回って いる。
			実績	85	108	205	141					

01 ≪まちづくり≫		08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築					
		R6年度の目標(総括)			R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)		
		災害情報共有システムを使用して、災害対応時の情報収集や関連情報の一元把握により、迅速な意思決定や応急対策を実施し、また、市民に「伝わる」防災情報をタイムリーに配信する。			災害情報共有システムを活用により、災害時の被害情報の一元把握や、SNSやメール、Lアラートへの一括配信による迅速な情報発信が実施できた。		
		R6年度の事業総括					
		進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	○:予定どおり		災害対応時にシステムを使用して気象・防災情報や被害情報など必要なデータの収集・分析を行い、迅速な意思決定や応急対策を実施する。	○:予定どおり	各部局が対応している被害情報をオンラインで確認できるため、迅速に詳細状況の確認ができた。また、気象・防災情報と地区のレイヤを重ねて危険な地域を確認できるため、必要な地域を限定して避難指示等を発令できた。引き続き、災害情報の一元管理による迅速な意思決定を実施していく。	
2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	○:予定どおり		災害情報共有システムを使用した一括配信により、システム整備とあわせて構築する市民ポータルサイトやSNS、民間の防災アプリ等で避難情報等を迅速に多くの人に配信する。	○:予定どおり	避難情報や避難所に関する市民への情報発信が、防災ポータルサイトやSNS、メールへ一括で迅速に配信できた。今後は気象情報の自動連携により警報なども迅速に周知できるよう改修を行う。	

【R6】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した 危機管理マネジメントの構築

1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報集約対象のシステム化率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	集約対象となる防災関連情報のシステム入力率	災害時の被害情報や気象情報、避難者数など必要な情報をすべてシステムで集約できた
			実績			100%	100%					

2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報発信チャンネル数	予定	10	11	11	11	11	11	11	市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数	防災ポータルを作成することで、避難情報や避難所情報を一つの画面で把握ができるようになり、16言語で発信できるようになった
			実績	10	11	11	11					

【R6】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02《行政経営》

01【窓口】行かなくてもよい&待たない窓口

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	1-1 申請のオンライン化 【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進 【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業 【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム 【窓口1-1-4】学校体育館等における施設予約システム・スマートロックの導入 1-2 電子申請における事務処理の効率化 【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携						■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。
書かない/待たない窓口の実現	2-1 窓口での手続きに要する時間の削減 【窓口2-1-1】書かない窓口の導入 2-3 プッシュ型手続きの実現 【窓口2-3-1】LINEによる一人ひとりに合った情報提供						■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。
相談チャネルの拡充	3-a-1 オンライン相談の拡大 【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大 3-b-1 相談に係る待ち時間の削減 【窓口3-b-1-1】相談窓口予約						■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
引き続き「申請のオンライン化」を拡大するとともに、オンライン申請の利用促進を進めていく。 デジタル庁の窓口DXSaaSの導入、BPRを含めて窓口のあり方を検討するため、当初予定の令和6年度導入から令和7年度導入とする。 既存システム(ツール)によるオンライン相談及び窓口予約の対象業務の拡大を目指す。	引き続きオンライン申請の拡大に努めていく。オンライン申請利用率がまだまだ低いこともある為、少しでも利用率を上げるため、広報活動等に力を入れていく。 令和7年度の「書かない窓口システム」導入に向け、最適なシステムの在り方等検討を進め、事業化を実現することができた。

R6年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	○:予定どおり		引き続き「申請のオンライン化」を拡大するとともに、オンライン申請の利用促進を進めていく。		
2	書かない／待たない窓口の実現	△:遅れている	「書かない・待たない窓口」の在り方について、デジタル庁の窓口DXSaaSの導入、窓口業務のBPRを含めて窓口のあり方を検討することで、更なる市民サービスの向上を図ることができる。	「書かない・待たない窓口」の実現については、デジタル庁の窓口DXSaaSの導入、BPRを含めて窓口のあり方を検討するため、当初予定の令和6年度導入から令和7年度導入とする。	○:予定どおり	「書かない窓口」の導入に向けて、システムの方式の決定、対象業務の選定、効果の算定、BPRの方法等の検討を行い、令和6年度に事業提案し、令和7年度の事業実施が決定した。
3	相談チャネルの拡充	○:予定どおり		既存システム(ツール)によるオンライン相談及び窓口予約の対象業務の拡大を目指す。	○:予定どおり	引き続き、業務の洗い出しなどを通じ、オンライン相談対応業務や窓口予約対応手続きの拡充に努める。

【R6】

重点課題 KPI の評価

02 ≪行政経営≫

01【窓口】行かなくてもよい待たない窓口

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン 対応手続き 数	予定	134	510	1,020	1,040	1,060	1,080	1,100	オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定	概ね計画どおり進捗が図れている
			実績	134	521	1,021	1,139					
		オンライン 申請利用率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)	R6年度は佐世保市HP内のオンラインポータルサイトのレイアウト変更を行ったものの、申請利用率が横ばいとなっているため、広報活動・導線改善等により申請率向上に向けた取り組みをしていく。
			実績	18.0%	6.6%	6.8%	9.4%					

2	書かない／待たない窓口の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		申請書作成支援対応手続き数	予定					7	7	7	下記7申請書を対象とする ・住民票の写し等交付請求書、印鑑登録証明書請求書 ・させぼ市民カード(印鑑登録証)等申請(届出)書、住民異動届、通知カード紛失届/個人番号カード紛失・廃止届、個人番号カード・電子証明書の暗証番号変更・初期化申請書、個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行/更新申請書	令和6年度に令和7年度以降のKPIを設定した
			実績									
		申請書作成支援対応手続き利用率	予定					100%	100%	100%	上記申請書はすべて利用	令和6年度に令和7年度以降のKPIを設定した
			実績									

3	相談チャネルの拡充	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン相談対応業務数	予定			19	19	19	19	19	オンライン相談ができる窓口数	対応可能な業務を順次実施したが、業務内容によっては対応難しく目標未達。今後は周知と業務の再洗い出しで対応業務を拡大する。
			実績			14	14					
		窓口予約対応手続き数	予定			2	4	4	4	4	窓口予約対応手続き数(令和5年度より実装、順次拡大)	市公式LINEへの予約機能追加もあり、予定を上回る進捗となった。
			実績			4	11					

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
キャッシュレス化の拡大に向けて、個別システムからの納付書や小規模現金取り扱い窓口への対応を検討する。 デジタルデバйд対応については、講習会等の継続実施や市が提供するサービスの講座での実践検討などを行うとともに、コミュニティセンターへ整備したWi-Fiについては、その環境を最大限活用して、ソフト事業の充実と積極的な取組を継続して推進する。 情報発信チャネルの分析等により、情報発信の最適化を図る。	引き続き個別システムから出力する納付書のキャッシュレス化や小規模現金取り扱い窓口のキャッシュレス化について検討を進めるとともに、キャッシュレス決済利用率の向上にも努めていく。 LINEの情報発信コンテンツ拡張の検討を行い、セグメント配信を開始した。

R6年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	支払いのキャッシュレス対応	○: 予定どおり	個別システムから出力する納付書のキャッシュレス化について対応を検討する。 小規模現金取り扱い窓口(指定管理者を含む)のキャッシュレス化について対応を検討する。	○: 予定どおり	個別システムから出力する納付書に関しては、システムの改修なども必要になることから、システム標準化や公金収納デジタル化の動きも考慮して検討していく必要があることが判明したため、令和7年度以降も引き続き情報収集含め検討を進めていく。 小規模現金取り扱い窓口のキャッシュレス化についても、各課への聞き取りを行いながら検討を進めていく。	
2	デジタルデバйд対応	○: 予定どおり	「高齢者、障がい者等のデジタルデバйд対応」としては、講習会等の継続実施とともに、キャッシュレス決済等の市が提供するサービスの講座での実践検討や総務省・通信事業者が行うものとの連携模索をする。 コミュニティセンターにおいては、令和4年度整備のWi-Fi環境の利用を推進し、社会ニーズも視野に入れたソフト面の研究及び実践に努め、その活用を図る。	○: 予定どおり	スマホ講座については、高齢者や障がい者向けにコミュニティセンターや委託事業者で開催し、R6では31回と前年度に比べると減少しているが予定を上回る結果となった。引き続き、スマホ講座をはじめとするデジタルデバйд対応の講習会等に注力する。	
3	情報発信の最適化	○: 予定どおり	情報発信チャネルの分析等により、情報発信の最適化を図る。	○: 予定どおり	市公式LINEのリッチメニューにおいては、掲載コンテンツやデザインを刷新し、利便性の向上を図った。 併せて、情報発信コンテンツの拡張についても検討を行い、セグメント配信も開始した。 今後は市民アンケート等を実施し、より市民のニーズにあった市公式LINEの運用を行っていきたい。	

【R6】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02 ≪行政経営≫

03【高質化】デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市民・事業者の意見の効果的な活用				1-1市民の声収集・活用の活性化			■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。
				【業務効率化1-1-1】広聴制度の見直し			
事務作業の削減・省力化	2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化						■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。 ■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。
	【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用						
	【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用						
	【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用						
	【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化						
	【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進						
	2-b-1 内部事務のデジタル化						
	【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム						
	【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム						
様々なデータを活用した業務の高度化	3-1データ利活用環境の整備						■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。
	【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化						
	【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業						
	【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム						
	3-2庁内情報管理の高度化						
	【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究						
				【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し			

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
「オフィス改革の推進」の方針に基づき、令和7年度に向けた電話の自動応答導入とPBX(電話交換機設備)のリプレースを目指し、システム内容を整理した上で進めていく。 広聴制度の見直しについては、さらなる満足度向上に向けた検討を進める。 RPA、AI等のデジタルツールの利用拡大などのBPRを推進する。 「データ利活用環境の整備」として、BIツールの実証をするとともに、長崎県データ連携基盤へ流通させるデータのメンテナンスを行い、活用について研究をしていく。	電話の自動応答業務は効果が少ないと判断し、実施しないことに決定した。 広聴制度の見直しについては、市民の声の効果的活用を継続して研究した。 全庁業務量調査結果から専門性が不要で定形的な入力作業等の時間数が多い業務を対象とし、RPAなどのデジタルツールの活用等による効率化を推進するため、医療保険課、収納推進課、長寿社会課の業務について、業務改善支援を行い業務フロー上の課題について改善策を検討した。その結果、改善策としてRPAやAI-OCRの活用を提案し、デジタルツールの作成等の対応を現在行っている。 また、各部局が選定したBPRの推進対象業務を対象に業務手順書を作成の上、その見直しを行うBPR検討会を18部署において実施した。 BIツールを全庁展開し、職員が活用できる環境を整え、普及活動にも取り組んだ。今後も継続して普及活動等を行っていく。

R6年度の事業総括						
進捗予定		後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響
1	市民・事業者の意見の効果的な活用	△:遅れている	電話の在り方について、「オフィス改革の推進」の方針が決定されれば、「電話の品質向上・職員負担軽減」の達成には遅れは生じているが、全庁的な在り方を構築することで、到達像の達成の効果を上げることができる。 令和6年度中に『スマートワークスタイル』変革に向けた全庁的なオフィス改革について意思決定をする予定である。スマートワークスタイルの前提となる一人1台PCのモバイルPC化は令和7年度までに実施予定のため、PC配置後のオフィス改革とあわせた電話の自動応答導入とPBX(電話交換機設備)のリプレースを目指し、システム内容を整理した上で進めていく。 広聴制度の見直しについて、現状の取り組みでは、市民の声に的確・丁寧に対応し、満足度の向上が見られるが、さらなる満足度向上に向けた検討を進めていく。	○:予定どおり	電話の自動応答業務は効果が少ないと判断し、実施しないことに決定した。 広聴制度の見直しについては、R6年度実施のアンケートを含め市民の声の効果的活用を継続して研究した。	
2	事務作業の削減・省力化	△:遅れている	業務等の業務手順書の作成結果の業務分析により、RPA、AI等のデジタルツールの利用拡大などのBPRを推進する。 また、業務手順書作成システムにより、各部署における自主的な業務手順の見直しによるBPRを推進する。	○:予定どおり	全庁業務量調査結果から専門性が不要で定形的な入力作業等の時間数が多い業務を対象とし、RPAなどのデジタルツールの活用等による効率化を推進するため、医療保険課、収納推進課、長寿社会課の業務について、業務改善支援を行い業務フロー上の課題について改善策を検討した。その結果、改善策としてRPAやAI-OCRの活用を提案し、デジタルツールの作成等の対応を現在行っている。 また、各部局が選定したBPRの推進対象業務を対象に業務手順書を作成の上、その見直しを行うBPR検討会を18部署において実施した。	
3	様々なデータを活用した業務の高度化	○:予定どおり	「データ利活用環境の整備」として、BIツールを全庁展開し、職員が活用できる環境を整える。 また、ユースケースを共有することでBIツール活用のヒントを提供していく。	○:予定どおり	BIツールを全庁展開し、職員が活用できる環境を整えた。また、BIツールに関する研修を実施するなど、職員への普及活動も併せて行った。今後も継続して普及活動等を行っていく。	

【R6】

重点課題 KPI の評価

02 ≪行政経営≫

03【高質化】デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化

1	市民・事業者の意見の効果的な活用	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		広聴システムでの満足度	予定	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	広聴システムからの回答についての大変満足・満足の割合（アンケート等による）	現システムにおける市民の声への対応満足度はほぼ横ばいである。R6年度実施のアンケートを含め市民の声の効果的な活用を継続して研究中。
			実績	80.2%	83.6%	82.5%	83.0%					

2	事務作業の削減・省力化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		RPA等による削減効果時間	予定	2,500.0	2,800.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0	3,600.0	3,800.0	(RPA1件における平均効率化時間 50h × 利用件数 音声文字起こし AI の年間効率化時間 1,200h)	計画通りの進捗が図れている。
			実績	7,055.8	5,273.2	7,089.34	7,481.53					
		電子決裁率	予定		100%	100%	100%	100%	100%	100%	決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く)	計画通りの進捗が図れている。
			実績		100%	100%	100%					

3	様々なデータを活用した業務の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データの見える化対応業務数	予定			6	12	18	24	30	Power BIによるダッシュボード作成: 6件/年	計画通りの進捗が図れている。
			実績			6	16					

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	1-a-1 リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証						■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。 ■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。 ■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。 ■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。 ■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大						
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備)						
	1-a-2 リモートワークに適した環境リプレースの推進						
	【職場1-a-2-1】PC台数、スペック、運用の見直し						
	1-b-1 オンラインコミュニケーションの環境整備・実証						
	【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大						
	【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化						
	1-b-2 情報共有環境の見直し						
	【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境)						
	1-b-3 印刷環境の見直し						
	【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し						
	1-c-1 スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し						
	【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査						
1-c-2 スマートワークに適した働き方を見直し							
【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討							
1-d-1 強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施							
【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施							
自治体情報システムの標準化	2-2-1 基幹システム標準化対応						■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。
	【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化						

R6年度の目標(総括)	R6年度の実績・評価・今後の対応(総括)
次期庁内情報基盤更改における運用事業者を選定し、庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。また、佐世保市役所DXの根幹となる職員端末等の環境整備(スマートワーク環境の実現)を早期に整備することを目的に、ネットワークの構築・モバイル端末の一部導入を進めることに併せて、令和6年度のプリンタの配備見直しの検討を進める。 また、システム標準化については、令和7年度の更新に向けて、令和6年度から各業務の標準化準拠システム移行に対応するベンダーを決定し、移行作業に着手する。	職員が時間や場所にとらわれず、生産性が高い働き方ができるスマートワーク環境構築を進めるとともに、同環境を最大限活用できるように活用事例を共有するなど、意識醸成を図ることができた。令和7年度のスマートワーク環境構築の完了に向け、引き続き対応を進めていく。 また、システム標準化については、令和7年度の更新に向けて、令和6年度に各業務の標準化準拠システム移行に対応するベンダーと契約を行い、移行作業に着手している。

R6年度の事業総括						
進捗予定	後倒理由・到達像への影響	目標	進捗	【実績】進捗状況・評価・今後の対応	未達理由・到達像への影響	
1 時間・場所にと られないス martワーク環 境	○:予定どお り	次期庁内情報基盤更改における運用事業者を選定し、庁内ネットワークの設計・構築・展開等を実施する。また、パソコンのモバイルパソコンへの入れ替え、Wi-Fi環境の整備、プリンタの配備見直しを行う。	○:予定どおり	次期庁内基盤機器更改における運用事業者を選定し、庁内ネットワークの設計・構築・展開等の委託契約を締結した。 次期庁内基盤機器をリース調達し、パソコンのモバイルパソコンへの入れ替え、Wi-Fi環境の整備を進め、複合機とプリンタの配置方針の作成を進めている。		
2 自治体情報シ ステムの標準・共 通化	○:予定どお り	「基幹システムの標準化」として、令和7年度の更新のため、令和6年度から各業務の標準化準拠システム移行に対応するベンダーを決定し、移行作業に着手する。	○:予定どおり	令和7年度に標準準拠システムへ更新を行うため、令和6年度から各業務システム移行に対応するベンダーと契約を行い、移行作業を実施している。		

		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
1	時間・場所にとられないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの利用率	予定	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%	オンラインコミュニケーション利用職員数／利用可能職員数	計画よりも進捗が図れている。
			実績	60.3%	84.4%	92.6%	94.4%					
		ペーパーレス度(令和3年度印刷枚数数量との比較)	予定	100.0%	100.0%	85.0%	85.0%	65.0%	45.0%	30.0%	各年度のA4用紙購入枚数／令和3年度のA4用紙購入枚数	計画よりも進捗が図れている。
			実績	100.0%	95.1%	81.7%	80.8%					
		KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
2	自治体情報システムの標準・共通化	標準化対応業務数	予定					18	20	20	国の自治体システム標準化に関する方針に基づき設定(標準化した業務数)	令和7年度の目標値達成に向け、取り組んでいる。
			実績									

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																						実施年度							
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9									
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-4	コンベンション協会業務デジタル化等事業	データ分析のためのタブレット端末やクラウド環境、モバイルルーターの整備を実施します。		業務観光整備件数				1		1		1		1		1				1		1			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-6	人流データを活用した行動分析	位置情報のビッグデータをもとに、観光客の行動を分析し、観光キャンペーンやルートの立案などを実施します。	○	データマイニング件数				1		2		3		5		5		7		5		5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-7	SNSデータのAI分析による観光計画	SNS上の観光客のリアルな声を把握・分析し、観光コンテンツの評価や計画立案を実施します。	○	データマイニング件数						3		5		5		7		5		5		5			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-1	データ共有プラットフォーム	観光に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		ダッシュボードの作成件数						6		13		12		13		18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-2	データ分析による需要予測	データ共有プラットフォーム上のデータを分析し、観光に関する需要予測を実現します。		データ活用による事業立案数						5		5		6		7		7		8		8		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	事業者と連携した地域の観光力強化	観光1-3-1	事業者等との情報共有（データ共有プラットフォームと同様）	データ共有プラットフォーム上にデータ連携機能を設けることで、事業者との情報共有を実現します。		民間事業者へのオープンデータ提示数						3		5		5		12		7		7		7		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-2	デジタルパンフレット	スマホやタブレットを活用した観光情報の収集ニーズに対応し、デジタルパンフレットの制作を実施します。		閲覧回数																						○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-3	プロモーション動画を起点とした呼び込み	プロモーション動画を広告配信し、ホームページに誘導することで、観光地としての認知の向上を図ります。		ホームページへの遷移数(/年)		3,920		150		4,273		702		4,626		2,088		4,939		1,379		5,253		5,566		5,880			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

040_プロジェクト一覧

【凡例】 ○ ⇒ ...

構築 運用 検討

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																						
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3																		実施年度			
											R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-4	デジタルマップの活用	観光マップをデジタル化することで、観光客が現在地や観光スポットをスマホで確認しながら周遊することを実現します。		観光ルートのアクセス/利用者数	25,000	55,584	27,500	151,246	30,000	160,116	33,000	151,507	176,000		184,000		193,000			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-5	各種商品券の電子化	各種商品券を電子で発行することにより発行・管理業務の負荷やコストを軽減しながら、加盟店や利用者の拡大を実現します。		アプリダウンロード数					15,000	46,061	19,500	58,219	25,400		33,000		42,900			…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	新たな技術を活用したプロモーションの推進	観光2-2-1	デジタルトラベルガイドの導入	デジタル技術を活用したトラベルガイド提供することで、観光資源の充実を図ります。		トラベルガイドのユニークユーザー件数							9,000	-	9,000		9,000		9,000			…	…	…	…	…	…	
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れた佐世保市の構築	メタ観光ニーズへの対応	観光3-a-2-1	AIを活用したメタ観光ルートの提供	AIの活用により、観光客の嗜好や希望条件に合わせた観光プランを提供し、多層的な観光体験(メタ観光)の提供を実現します。	○	モデルコースデータベース							30	32	60		90		90			…	…	○	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れた佐世保市の構築	周遊観光の促進・最適な移動手段情報の提供	観光3-b-2-1	周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供	位置情報から目的地までの最適なルートを導出し、各種交通・観光チケットの購入、決済までをスマホアプリ上でシームレスに実施できる環境を実現します。		モデルコースデータベース							30	32	60		90		90			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-2-3	旅行者オンライン購買データ解析による未来予測	プロモーション実施後、実際に着地に至ったかの検証を実施。基礎的データとしてオンラインでの宿泊予約状況、フライト予約情報などの推測値をもとに先行指標の計測も実施する。		データマイニング件数							1	1	3		5		7					…	…	…	…	
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	担い手の確保・継続・育成	新たな担い手の参入促進	農水1-1-1	担当者等によるオンライン相談や回答サービス	新規就農者がLINEで写真や映像を共有しながら指導員に相談でき、また、農家向けSNSなどでコミュニティへの相談もできる環境を実現します。		サービス利用率																	…	…	…	…	…	…
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	担い手の確保・継続・育成	担い手の定着に向けたコミュニティ交流の強化	農水1-2/3-1	デジタルを活用したコミュニティ交流の強化	農家向けSNSを利用し、農作業等に関する疑問解消やコミュニティ交流の強化を実現します。		参加者数																	…	…	…	…	…	…
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-1	IoTを活用したスマート畜産	牛の発情兆候をIoTセンサーでスマート化し、生産者グループまた関係機関でデータ共有し生産性の向上を図ります。		活用率							2	0	4		6		9			…	…	○	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-2	農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援)	IoT機器により生育のコントロールを行うことで適切な生育環境を作り出し単収の向上を図ります。		IoTを活用した農家数	5	5	18	18	28	22	44	32	62		82		102			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-3	農薬散布用ドローン等	農薬をドローンで散布することで作業の効率化、省力化を図ります。		活用拠点数																	…	…	…	…	○	

040 プロジェクト一覧

【凡例】○⇒…

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																				実施年度							
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-1	IoTを駆使した給餌管理	IoTを活用し、遠隔から水槽の水温等の管理や給餌量の確認、異常の検知を実施します。		活用拠点数					1	3	3	3	3		9		12			○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-2	AI活用による漁獲量向上	ベテラン漁業者の経験や技術、勘をデータ化し、蓄積・活用することで、常に最適な漁場に関する情報提供を実現します。		活用拠点数					3	0	3	0	3		3		3		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-3	データ活用による漁獲量予測	海洋データや気象データ等を一元的に集約・活用することで、常に最適な漁場に関する情報提供が可能になり、漁獲高等の事前予測を行います。		活用拠点数					3	0	3	0	3		3		3		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	新たな販路の拡大	農水2-b-1/2-1	生産物の強み可視化によるブランディングの強化	生産物の栄養素等を分析することにより、生産物が持つ強みを可視化し、ブランディング強化を実現します。		販路拡大数															...	...	...	...	...	...							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	新たな販路の拡大	農水2-b-1/2-2	オンラインによる直売	オンライン上で生産者が農水産物を消費者に直接販売できるサービスを実現します。		参加者数							14	15	15		16		17				○	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-1-1	有害鳥獣被害防止対策	害獣をセンサーで検知し、基地局・中継局を通じて利用者等にメール等で通知することを実現します。	○	研究開発に係る協議回数(/年)	5	5	10	5	10	10	10	10	10		10		10		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-a-1/2-2	赤潮監視対策事業	テレメーターによりセンシング及び採水を行い、AIにて分析を行うことで、赤潮発生の予兆を検知し、利用者へメールなどで通知することを実現します。	○	赤潮監視装置の拠点数			1	1	1	1	3	3	3		3		3		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上	子ども1-a-1-1	オンライン対応可能な手続申請	オンラインで申請で実施できる申請を拡充します。		手続き数	16	19	77	84	90	95	90	100	95		95		95		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する情報発信の強化	子ども1-b-1-1	プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充	市が保有するデータを活用し、子育て世帯向けに子育てに関する情報や必要な手続きなどをプッシュ通知でのお知らせを実施します。	○	新規登録率R7以降させほっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)／母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	50.0%	78.0%	53.0%	46.2%	57.0%	45.4%	60.0%	39.1%	90.0%		90.0%		90.0%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単に便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化	子ども1-2-1	オンライン申請利用率の向上	妊娠、出産、育児等に係る申請等についてマイナポータル等を活用し、オンラインによる申請手続き率を向上します。		申請利用率	10.0%	12.1%	20.0%	14.0%	30.0%	29.9%	35.0%	50.4%	40.0%		45.0%		50.0%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目																実施年度					
										R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-2	オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)	母子健康手帳交付、訪問相談などの相談をオンラインで対応可能な環境を実現します。		相談対応事業数	1	1	2	2	3	3	3	3	3		3		3			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-3	地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携	地域の子育て関連機関とのやりとりや資料共有などオンラインで対応可能な環境を実現します。	○	連携施設数					50	73	73	74	73		73		73		73	...	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	子育て支援に必要なデータの取得・分析	子ども2-2-1	子育て関連情報の一元管理	子育てに関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ活用を行う業務数																...	...	...	...	...	...
まちづくり	子ども・子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化	データ活用等による、細やかな子育て支援ニーズへの対応	子ども2-3-1	AIデータ分析による業務活用	子育てに関する様々なデータを分析し、AIによるリスク検知を行うことで、ケースのリスクアセスメントや支援プランの作成を実現します。	○	データ活用を行う業務数																...	...	...	...	...	...
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	モラル教育及びセキュリティの充実	教育1-a-1-1	フィルタリングソフトの導入	児童生徒をインターネットトラブルや有害サイトから守り、安心してITを利用できる環境を実現します。		ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	教員の学びの知見の共有化	教育1-b-1/2-1	学校教育ネットワーク強化事業	通信環境の強化により、児童生徒が快適にITを利用できる環境を実現します。		ハード・ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	個別に最適化された学びの実現	教育1-c-1	AIドリルの導入	児童生徒の解答をAIが分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題するなど、個々の習熟度に応じた学習を実施します。		導入学校数									100%		100%		100%		100%			○	⇒	⇒	
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	校務の効率化支援	教育2-1-1	統合型校務支援システムの導入	統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を実現します。		システム導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

040 プロジェクト一覧

【凡例】○⇒…

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	保護者とのコミュニケーションの基盤の整備	教育3-1-1	学校・家庭間連絡システムの導入	学校から保護者への連絡や保護者から学校への連絡をシステム化します。	○	活用学校数			0%	50%	70%	100%	100%	100%	100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要なとなる人流情報の把握	都市1-1-1	(まちなかウォークアブル推進、データ使用料)人流データの把握	携帯電話のローミング情報をもとに国内居住者や訪日外国人の人口分布や動態の把握を図ります。		取得データ種別数					1	2	2	2	0		0		2			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要なとなる施設情報の把握	都市1-1-4	空き家推定ツール開発共同研究事業	空き家の状況把握や定期的な実態確認を実施します。		確認建物数%					(株)ゼンリンとの協議継続中	(株)ゼンリンとの協議継続中	100%	(株)ゼンリンとの協議継続中	100%		100%		100%		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	SNSを活用した公共施設の情報取得と解析	都市1-2-2	SNSを活用した公園管理	SNSにより、公園の遊具や植物の状況(老朽状態や育成状況など)について市民からの情報取得を実施します。		導入公園率(%)					100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルの活用	都市2-1/2/3-1	3D都市モデル構築業務	建物の高さや構造種別などを立体的に把握し、3Dでの都市の状況表示を実現します。	○	市民対応での活用率			0%	0%	14.0%	14.0%	28.0%	33.0%	42.0%		56.0%		70.0%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルを活用した計画策定の高度化	都市2-2-1	3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化	3D都市モデルを作成することで、災害リスクの検討や人流・物流のシミュレーションを行い、より高度な居住計画に資する情報の分析を実現します。		ダッシュボードの作成件数					6	6	6	6	6		9		12			○	⇒	⇒	⇒	⇒				

040 プロジェクト一覧

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	データ一元化による土地利活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）	まちづくり計画に必要なデータの一元管理	都市3-1-1	データ共有プラットフォーム	都市整備に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		統合するデータ種別数					5	5	6	6	7		8		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	ドローンの3D測量等多目的活用の実施	土木1-a-1/2/3-1	ドローンの多目的活用の推進	インフラ施設や災害現場の全体像の把握や写真・動画の撮影、関係部署との共有、市民への情報発信などドローンの多目的活用を実施します。		ドローン多目的利用数			3	3	4	4	5	5	6		8		10		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング（カメラ・センサ）による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-1	道路冠水状況モニタリングシステム	モニタリング（カメラ・センサ）により、市道等の冠水状況の把握を行います。また、冠水浸水予測システム構築に向けたデータ収集を実施します。	○	モニタリング箇所数					9	9	9	9	9		9		9		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング（カメラ・センサ）による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-2	河川モニタリングシステム	ライブカメラやセンサー等により、リアルタイムな河川の状況把握を実施します。	○	モニタリング箇所数			4	4	8	8	8	8	8		8		8		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング（カメラ・センサ）による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-3	ウェアラブルカメラの活用	ウェアラブルカメラを活用し、現場と本庁で画像、映像を共有し、本庁側での現場のリアルタイムな状況確認を実現します。		ウェアラブルカメラ利用時間（h）			200	50	280	260	360	50	440		520		600		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				

040 プロジェクト一覧

【凡例】 ○ ⇒ …

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																				実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握	モニタリング(カメラ・センサ)による道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集	土木1-b-1/2-4	(道路パトロールの動画活用システム)道路パトロールの動画活用システム	道路パトロールのICT化データ(路面評価)と、動画データとのダブルチェックによる損傷確認や、路面以外の道路周辺の映像確認等を実施します。	○	道路パトロール利用率			75.0%	75.0%	77.5%	77.5%	80.0%	80.0%	82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-1	冠水・浸水予測システム	道路・河川モニタリングシステムによって集積されたデータをAI技術等により分析し、水位予測モデルの作成を実施します。	○	冠水・浸水箇所の分析箇所数											2		4		...	...	...	...	○	⇒					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-2	(道路パトロールの動画活用システム及びAI分析システム)道路パトロールデータのAI分析	道路パトロールの動画活用システムなどで蓄積された画像データをAIにより分析し、舗装損傷箇所の自動検出を実現します。		道路パトロールデータ分析率			75.0%	36.5%	77.5%	77.5%	80.0%	80.0%	82.5%		85.0%		90.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析	土木2-1-3	WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報	スマホの写真撮影機能と位置情報計測システム(GPS)機能を活用し、市民が道路損傷等をWEBアプリケーション等で市へ通報することを実現します。		WEBアプリケーション等による通報件数					630	70	660	90	690		720		760		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	情報分析に基づくインフラ管理の高度化	土木1-b-3/2-3-1	データ共有プラットフォームによるデータ管理	土木に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		データ種別数									1		2		3				○	⇒	⇒	⇒					
まちづくり	土木	土木部	デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築	インフラ情報のリアルタイム発信	市民へのインフラ情報のリアルタイム発信	土木3-1/2-1	ホームページ等による情報のリアルタイム発信	ライブカメラの映像等をホームページ等でのリアルタイム発信を実現します。		リアルタイム発信のチャネル数					0	0	2	8	4		6		8		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒					

040. プロジェクト一覧 【凡例】 ○ ⇒ …

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																							
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3 R3実績 R4 R4実績 R5 R5実績 R6 R6実績 R7 R7実績 R8 R8実績 R9 R9実績																	実施年度					
											R4	R5	R6	R7	R8	R9																	
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上	保福1-a-1-3	オンライン相談	介護・医療などの相談をスマホやパソコンからオンラインで実施可能な環境を実現します。	オンライン相談窓口数					15	10	15	10	15		15		15		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	気軽に相談できる窓口の構築	福祉に関する情報発信の強化	保福1-a-2-2	ナッジ理論を活用した健診の推奨	長崎県が実施する「ICTを活用した特定健診受診率向上対策事業」に参加し、受診勧奨を行う。	通知勧奨実施回数					1	2	2	2	2						...	○	⇒	⇒						
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-1	訪問調査におけるタブレット活用	生活保護業務の訪問調査において、タブレットを活用して資料説明や情報入力を実施します。	タブレット導入数											13		13			...	...	...	○	⇒				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-1-2	電子審査会の推進	介護認定審査会をオンライン開催し、場所にとられない会議を実現します。	予定しているWEB会議の開催率				100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	保健福祉	保健福祉部	デジタルを活用した福祉の高度化による包括的な支援体制の実現	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減	保福2-b-2-2	AI-OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化	受領した書類の入力作業をRPAやAI等に行わせ、職員はエラーチェックや確認作業のみを行うことで負担軽減を図るもの。	活用数										2	2	2		2		2	...	...	○	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-1	災害情報共有システム導入	災害時の各部局の被害情報を、災害対策本部でリアルタイムに集約し、一元管理できる環境を実現します。	情報集約対象のシステム化率				0%	0%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		○	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	災害対応に必要なデータの取得・分析	防災1-1-2	対災害SNS情報の取得・分析	SNSの投稿内容を分析し、指定エリアの被災状況やリスク情報のリアルタイムな可視化を実現します。	分析結果活用率				100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
まちづくり	防災危機管理	防災危機管理局	適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	データ分析に基づく防災計画などの策定	防災1-2-1	3Dデータを活用した防災の周知	防災に対する意識向上を図るため、3Dデータを活用したシミュレーション動画の配信を実施します。	活用率（利用者数）					100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%		○	⇒	⇒	⇒	⇒					

040 プロジェクト一覧 【凡例】 ○ ⇒ …

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	実施年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

040 プロジェクト一覧

【凡例】○⇒…

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																			実施年度					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	相談チャネルの拡充	オンライン相談の拡大	窓口3-a-1-1	オンライン相談の拡大	現在も取組を行っているオンライン相談について、活用方法を整理し対象業務の拡大を図ります。		対応業務数	2	—	3	3	19	14	19	14	19		19		19		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	窓口	行政経営改革部	行かなくてもよい＆待たない窓口	相談チャネルの拡充	相談に係る待ち時間の削減	窓口3-b-1-1	相談窓口予約	相談窓口について事前予約を既存のシステム(Office365やローコードツール)を活用し実装することで、相談窓口の混雑や待ち時間を削減します。		窓口予約対応手続き数	0	—	1	3	2	4	4	11	4		4		4		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	財務会計システム納付書のキャッシュレス化	多様化1-1-1	(キャッシュレス化推進事業)財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入	財務会計システムで取り扱う納付書に関してキャッシュレス対応し、多様なニーズに応えます。	○	キャッシュレス決済利用率	0%	0%	5%	3.9%	6%	4%	7%	5.7%	8%		9%		10%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	支払いのキャッシュレス対応	窓口(レジ)のキャッシュレス化	多様化1-2-1	(キャッシュレス化推進事業)窓口(レジ)のキャッシュレス導入	窓口での支払いに関してキャッシュレス対応のレジを導入し、多様なニーズに応えます。	○	キャッシュレス決済利用率(窓口)	0%	0%	20%	10.2%	25%	12%	30%	15.2%	35%		40%		45%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	高齢者、障がい者等のデジタルデバイス対応	多様化2-a-1-1	高齢者・障がい者へのデジタル活用支援	高齢者や障がい者がオンライン申請等を活用できるよう、教育等の支援をします。		デジタル活用セミナー実施回数	21	30	27	48	27	45	27	31	27		27		27		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-1	広報の多言語対応拡張	広報等について対応する言語を拡張し、より幅広い外国人への情報発信を図ります。		対応言語数	4	4	4	4	4	133	4	249	243		243		243		⇒	⇒	⇒	○	⇒	⇒				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI翻訳ソフトの実証と導入	汎用的なAI翻訳ソフトを実証し、様々な業務に導入します。	○	翻訳機使用回数	20	38	20	47	20	11	20	35	20		20		20		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	多様化	市民生活部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	ネットワーク利用可能施設の拡大	多様化2-c-1-1	市内公共施設へのWi-Fi環境導入	より幅広い公共施設で市民がインターネットを活用できるようWi-Fi環境を導入します。		導入施設数	0	0	29	29	29	29	29	30	30		30		30		○	⇒	○	⇒	⇒	⇒				

040 プロジェクト一覧

【凡例】○⇒…
構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																							
				名称	名称	PID	名称	概要		活動指標項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	実施年度								
																									R4	R5	R6	R7	R8	R9			
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-1	広報紙のデジタル化	現在紙が中心となっている広報誌をオンライン化することで幅広い要望に対応します。		アクセス数	3,920,000	3,944,938	4,272,800	4,077,432	4,625,600	4,051,623	4,939,200	3,770,178	5,252,800		5,566,400		5,880,000			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-2	LINEサービスの拡張	現在も取組を行っているLINEによる情報発信について、対象サービスを拡張し、より幅広い情報発信を行います。		対応業務数	9	9	11	9	13	8	15	20	15		15		15			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化	多様化3-2-1	ホームページのリニューアル	利用者が知りたい情報に「たどり着く」、知りたい情報が「分かる」佐世保市ホームページにリニューアルするもの		アクセス数									5,252,800		5,566,400		5,880,000			…	…	…	○	⇒	⇒		
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	市民・事業者の意見の効果的な活用	市民の声収集・活用の活性化	業務効率化1-1-1	広聴制度の見直し	現状の広聴システムにおいてSNSのコメント収集や、より分析しやすくするためのデータ形式や入力方法といった見直しを行います。		広聴システム満足度	100%	80.2%	100%	83.6%	100%	82.5%	100%	83.0%	100%		100%		100%			…	…	…	○	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-1	(先進的ICT技術活用推進事業)RPAの導入と活用	RPAを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	利用件数	25	32	32	38	35	50	38	48	41		44		47			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI-OCRの導入と活用	AI-OCRを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。	○	処理帳票種類	0	0	20	19	24	28	28	35	32		36		39			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-3	(先進的ICT技術活用企画費)ローコードツールの活用	ローコードツールを活用し、様々な内部事務作業の効率化を図ります。		アプリケーション開発件数	1	0	3	1	6	1	9	1	12		15		18			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタルツール活用による業務の自動化	業務効率化2-a-1-4	(先進的ICT技術活用推進事業)文字起こしAIによる議事録の自動化	既に取組を行っている文字起こしAIによる議事録の自動化について活用を促進します。	○	処理件数(累計)	800	925	1,700	1,852	2,600	3,395	3,500	4,970	4,400		5,300		6,200			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化	業務効率化2-a-1-5	電子決裁・文書管理システム	文書管理システムを導入し、庁内における決裁を電子化することで業務の高速化を図ります。		電子決裁率	0%	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%		100%			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		

040. プロジェクト一覧 【凡例】 ○ ⇒ …

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																								
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3 R3実績 R4 R4実績 R5 R5実績 R6 R6実績 R7 R7実績 R8 R8実績 R9 R9実績																		実施年度					
											R4	R5	R6	R7	R8	R9																		
行政経営	高質化	総務部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	内部事務のデジタル化		庶務事務システムの再構築	庶務事務システムの再構築により、勤怠入力や休暇申請といった業務をデジタル化します。		庶務業務のデジタル化件数	0	0	1,200	0	17,700	21,466	17,700	21,908	17,700		17,700		17,700		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ活用環境の整備		BIツール等を用いたデータの見える化	時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。		ダッシュボードの作成件数	0	0	0	0	6	6	12	16	18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ活用環境の整備		DX企画推進事業(長崎県データ連携基盤)	行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を利活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。		本市データをシステム連携し利用した回数	0	0	1,000	1,595	1,200	1,607	1,400	3,865	1,600		1,800		2,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ活用環境の整備		データ共有プラットフォーム			ダッシュボードの作成件数					6	6	12	16	18		24		30			○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	庁内情報管理の高度化		庁内情報の整理と配置の見直し	FAQ、グループウェア、ファイルサーバ、例規システムに格納されているデータについて職員が検索しやすいようデータの整理を行います。		対応業務数※整理・移行を実施した業務(分類)数															○	○	○	○						
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	事務作業の削減・省力化	デジタル活用による業務の自動化		業務手順書作成によるBPRの推進	業務手順書作成システムを導入し、全庁的に業務手順書を作成することで、その分析結果からRPAを導入するなどのBPRを行います。		手順書作成数	0	0	0	0	25	26	43	67	87		106		155		...	○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適した環境リブレース推進		PCの台数、スペック、運用の見直し	リモートワーク等の働き方に合わせて、次期調達のPCのスペックや台数を見直します。		PC配布数															○	○	○	○	○	○				
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証		オンライン共有環境や運用の見直しと拡大(庁内外の連絡のオンライン化)	既に取り組を行っているオンライン会議について、より活用を拡大するため、会議室等の設備の見直しや、運用の見直しを行います。		オンラインコミュニケーションの利用率	50%	60%	55%	84.4%	60%	90.9%	80%	94.4%	90%		100%		100%		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				

040 プロジェクト一覧 【凡例】 ○ ⇒ …

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																					
				名称	名称	PID	名称	概要		項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	実施年度						
											R4	R5	R6	R7	R8	R9															
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証	職場環境1-b-1-2	研修・説明会・視察のオンライン化	既に取組を行っているオンライン会議について、研修・説明会・視察にも活用することでオンラインのコミュニケーションの幅を広げます。	研修等におけるオンライン出席率																⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	印刷環境の見直し検討	職場環境1-b-3-1	複合機・プリンタの配置見直し	ペーパレス化と合わせて、プリンタの数を削減するとともに、どこでも印刷ができるようプリンタサーバを導入します。	プリンタ設置数					149	149	141	139	141		116		89			○	○	○	○	○		
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸	職場環境1-c-1-1	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備に合わせて、スマートワークの実現に向けた職員の働き方に関する課題（スマートワークが実現できない業務、職員の意識等）の棚卸を行います。	-															○							
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	スマートワークに適した働き方の見直し	職場環境1-c-2-1	スマートワークに適した働き方の見直し検討	棚卸した課題に対する対応方針を検討し、職員の意識改革や職務内容を見直し等を行います。	-															○							
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	セキュリティの強靱化	職場環境1-d-1-1	(庁内情報化基盤管理事業)強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施	国が示すセキュリティ対策に従い実施します。	○	-														○	○	○	○	○	○		
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	自治体情報システムの標準・共通化	基幹システムの標準化対応	職場環境2-2-1	基幹システムの標準化	国が示すシステム標準化の指針に従い、基幹システムの標準化対応を行います。	○	標準化対応業務数								18		20		20		...	...	○	○	○	⇒		
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証	職場環境1-a-1-1 職場環境1-b-2-2	(庁内情報化基盤管理事業)スマートワーク環境の整備	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備し、自宅等の庁外で業務ができる環境を構築します。あわせて、本庁舎にあるサーバをクラウド環境に移行します。	○	リモートワーク利用人数	10	29	108	14	108	26	108	75	108		108		108		○	○	○	○	⇒	⇒	
行政経営	推進課題	行政経営改革部	推進課題			推進1	ドローンの活用推進			ドローンシェア利用回数	0	0	0	0	19	5	40	2	40		40		40		○	⇒	⇒	⇒	⇒		
行政経営	推進課題	行政経営改革部	推進課題			推進2	生成AIの業務活用			職員利用数							80	1004	320		720		1280			○	⇒	⇒	⇒		

040 プロジェクト一覧

【凡例】 ○ ⇒ …

構築 運用 検討

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング 項目	活動指標																		実施年度							
				名称	名称	PID	名称	概要																											
										R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9						
行政経営	その他	行政経営改革部	3つのしかけ			仕掛け1	CDO補佐官・DXコーディネータと連携したDX推進	CDOを補佐するCDO補佐官や、DXについて特定の部局のアドバイザーであるDXコーディネータを任用することにより、市役所のDXを強力に推進します。	CDO補佐官との協議回数	0	0	10	10	20	51	20	25	20		20		20			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
						106		リーディングプロジェクト数	27																										